



様式(第7条関係)

平成29年 4月 28日

富士見市議会議長 尾崎 孝好様

会 派 名 富士見市民ネットワーク
経理責任者名 加藤 久美子

平成28年度政務活動費収支報告について

富士見市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項又は第3項の規定に基づき、別紙のとおり平成28年度政務活動費収支報告書を提出します。

別紙

平成28年度政務活動費収支報告書

会派名 富士見市民ネットワーク

1.収入
政務活動費 240,000

2支出

単位 (円)

項目	金額	備考
研究研修費	139,298	市川房枝政治フォーラム参加費、第8回生活保護問題議員研修会、第18期自治政策講座in東京参加費、富山県、福島県など交通費・宿泊費、福島視察研修(バス代)
調査旅費	0	
資料作成費	39,396	タブレットリース料12ヶ月分
資料購入費	21,106	ゼンリン市内地図購入費、書籍代
広報費	0	
広聴費	0	
人件費	0	
合計	199,800	

(備考)

1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。

2 図書を購入した場合は、領収書等に図書名を記入すること。

3 添付書類

政務活動費支出に係る領収書等の原本

4 残額 40,200 円

5 収支内訳

単位 円

月 日	収入		支出		
	項 目	金額	項 目	金額	内 訳
4月25日	28年度政務活動費	240,000			
4月18日			資料購入費	17,280	ゼンリン地図
5月9日			資料作成費	3,283	タブレットリース料
6月7日			資料作成費	3,283	タブレットリース料
7月7日			資料作成費	3,283	タブレットリース料
7月22日			研究研修費	12,000	脱原発セミナー
8月5日			研究研修費	1,040	みずほ台駅一代々木駅往復
8月8日			資料作成費	3,283	タブレットリース料
8月13日			研究研修費	25,000	大宮駅ー富山駅往復(8/26-27)
8月13日			研究研修費	10,800	8/26宿泊費
8月13日			研究研修費	8,620	大宮駅から福島駅(8/20)
8月15日			研究研修費	108	研修費振込料
8月17日			研究研修費	15,000	第8回生活保護問題議員研修会
8月20日			研究研修費	4,000	現地視察(バス代)
8月21日			研究研修費	8,620	福島駅から大宮駅(8/21)
8月21日			研究研修費	390	大宮駅からみずほ台駅(往路のみ)
8月22日			研究研修費	30,000	自治政策講座受講料
8月23日			資料購入費	2,900	書籍代2冊分
9月1日			資料購入費	926	埼玉県5か年計画購入
9月7日			資料作成費	3,283	タブレットリース料
10月7日			資料作成費	3,283	タブレットリース料
10月28日			研究研修費	5,400	市川房枝政治参画フォーラム
11月7日			資料作成費	3,283	タブレットリース料
12月7日			資料作成費	3,283	タブレットリース料
1月10日			資料作成費	3,283	タブレットリース料
1月24日			研究研修費	17,280	市川房枝政治参画フォーラム
1月27日			研究研修費	1,040	同上(1/27のみ)交通費
2月7日			資料作成費	3,283	タブレットリース料
3月7日			資料作成費	3,283	タブレットリース料
4月7日			資料作成費	3,283	タブレットリース料
計		240,000		199,800	

様式第2号(第3条関係)

政務活動費収入支出整理簿

平成28年度
会派名 富士見市民ネットワーク

単位 円

領収書 番号	月 日	項 目	収入	支出	残金	備考
	4月25日	28年度政務活動費	240,000		240,000	
1	4月18日	資料購入費		17,280	222,720	ゼンリン地図
2	5月9日	資料作成費		3,283	219,437	タブレットリース料
3	6月7日	資料作成費		3,283	216,154	タブレットリース料
4	7月7日	資料作成費		3,283	212,871	タブレットリース料
5	7月22日	研究研修費		12,000	200,871	脱原発セミナー
6	8月5日	研究研修費		1,040	199,831	みずほ台駅一代々木駅往復
7	8月8日	資料作成費		3,283	196,548	タブレットリース料
8	8月13日	研究研修費		25,000	171,548	大宮駅ー富山駅往復(8/26・27)
9	8月13日	研究研修費		10,800	160,748	8/26宿泊費
10	8月13日	研究研修費		8,620	152,128	大宮駅から福島駅(8/20)
11	8月15日	研究研修費		108	152,020	研修費振込料
12	8月17日	研究研修費		15,000	137,020	第8回生活保護問題議員研修会
13	8月20日	研究研修費		4,000	133,020	現地視察(バス代)
14	8月21日	研究研修費		8,620	124,400	福島駅から大宮駅(8/21)
15	8月21日	研究研修費		390	124,010	大宮駅からみずほ台駅(往路のみ)
16	8月22日	研究研修費		30,000	94,010	自治政策講座受講料
17	8月23日	資料購入費		2,900	91,110	書籍代2冊分
18	9月1日	資料購入費		926	90,184	埼玉県5か年計画購入
19	9月7日	資料作成費		3,283	86,901	タブレットリース料
20	10月7日	資料作成費		3,283	83,618	タブレットリース料
21	10月28日	研究研修費		5,400	78,218	市川房枝政治参画フォーラム
22	11月7日	資料作成費		3,283	74,935	タブレットリース料
23	12月7日	資料作成費		3,283	71,652	タブレットリース料
24	1月10日	資料作成費		3,283	68,369	タブレットリース料
25	1月24日	研究研修費		17,280	51,089	市川房枝政治参画フォーラム
26	1月27日	研究研修費		1,040	50,049	同上(1/27のみ)交通費
27	2月7日	資料作成費		3,283	46,766	タブレットリース料
28	3月7日	資料作成費		3,283	43,483	タブレットリース料
29	4月7日	資料作成費		3,283	40,200	タブレットリース料

様式第1号 (第3条関係)

政務活動費領収書等級

領収証

No.

富士見市民ネットワーク様

28年4月18日

金額	¥	17,280-
----	---	---------

内
消費税等 ¥1280-

但 住宅地団 富士見市

現金	
小切手	

上記正に領収いたしました



川越市南田島 862-2000
地区 すがほ
代表 須加尾留武

TEL 049-222-1750

HISAGO 780

No. 21965

発行日 2016年5月26日

◇ 領 収 証 ◇

富士見市民ネットワーク 御中

ご契約番号 : 10324743540000

ご契約者名 : 加藤 久美子

¥ 3,283-

(税抜き ¥3,040-)

但 リース料として

2016年5月9日 上記金額正に領収いたしました



日立キャピタル NBL 株式会社

東京都港区西新橋三丁目3番1号 西新橋スクエア

発行部署名	検印	担当印
カスタマーサービスセンター	●	●

※金額を訂正したものとび会社印並びに検印のないものは無効とします。

※再発行は致しません

No. 22748

発行日 2016年6月17日

◇ 領 収 証 ◇

富士見市民ネットワーク 御中

ご契約番号 : 10324743540000

ご契約者名 : 加藤 久美子

¥ 3,283 ー

(税抜き ¥ 3,040 ー)



但 リース料として

2016年6月7日 上記金額正に領収いたしました



日立キャピタル NBL 株式会社

東京都港区西新橋一丁目3番1号 西新橋スクエア

発行部署名	検印	担当印
カスタマーサービスセンター		

※金額を訂正したもの及び会社印並びに検印のないものは無効とします。

※再発行は致しません

4

No. 24042

発行日 2016年7月22日

◇ 領 収 証 ◇

富士見市民ネットワーク 御中

ご契約番号 : 10324743540000

ご契約者名 : 加藤 久美子

¥ 3,283-

(税抜き ¥ 3,040-)

但 リース料として

2016年7月7日 上記金額正に領収いたしました



日立キャピタル NBL 株式会社

東京都港区西新橋一丁目3番1号 西新橋スクエア

発行部署名	検印	担当印
カスタマーサービスセンター	●	●

※金額を訂正したものと及び会社印並びに検印のないものは無効とします。

※再発行は致しません

様式第1号 (第3条関係)

政務活動費領収書等級

5

領 収 証

No. ²⁷再 43

富士見市民ネット7-7
加藤 久美子 様

2016年7月22日

★ ￥12000-

但 市川房枝政治参画フォーラム参加費 脱原税1回セシ

上記正に領収いたしました

内 訳 振替口座②#44

税抜金額
消費税額等(%)

公益法人市川房枝記念会女性と政治センター
東京都渋谷区代々木2-21-11 婦選会館
電話 03 (3370) 0238 〒151-0053

コクヨ カケ76

2016脱原発1日セミナー

いのちを育み、暮らし続けられる 社会をめざして

チェルノブイリ原発事故から30年を経ても廃炉の終わりが見えない。日本では、東日本大震災と東電福島第1原発事故から5年。復興道半ばで原発再稼働に動き出すなか、熊本地震が起きた。なぜ日本は逆戻りをしているのか。子ども被災者支援法は機能しているのか。福島の避難者の声を聞き、地震列島の暮らしといのちを守るため、私たちは今後どうすべきか。共に学び、持続可能な社会をめざしたい。

と き **8月5日(金)** 9:45~16:30 (開場9:15)

ところ 婦選会館 東京都渋谷区代々木2-21-11 ☎03-3370-0238
JR線/代々木駅北口、新宿駅南口下車徒歩約7分 道順はセンターHP参照
小田急線/南新宿駅下車徒歩約3分 地下鉄都営新宿線・大江戸線/新宿駅A1下車徒歩約3分

対象・定員 自治体議員及びその支援者、
テーマに関心のある人(主に女性)約40名(受付先着順)

プログラム (9:45~10:00 開会行事・ガイダンス)
10:00~12:00

●基調講演 3.11から5年 —なぜ日本は逆戻りをしているのか—

元京都大学原子炉実験所助教 **小出裕章氏**



撮影 松岡広樹

13:00~16:30

●シンポジウム 避難か帰還か、原発事故避難者の現実と課題

パネリスト

福島原発被害者東京訴訟原告 **熊本美彌子氏**

原発避難者 **古川好子氏**

郡山市議会議員 **へびいし郁子氏**

=進行兼= 原子力資料情報室スタッフ **澤井正子氏**

16:30~18:00

●交流会(自由参加)

参加費 12,000円(現職議員以外の方は半額)。交流会参加費は別途1,000円(ドリンク・軽食)

備考 ■参加希望者は8/1(月)までに①参加費のお払込み、②裏面申込書などでお申し込み下さい。

■振込先 郵便振替口座番号 00170-0-561022 加入者名(公財)市川房枝記念会女性と政治センター

■講師紹介・申込用紙は裏面にあります。■講師の都合等により変更がある場合はご了承下さい。

主催：公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター

東京都渋谷区代々木2-21-11 婦選会館 〒151-0053

電話 03-3370-0238 FAX 03-5388-4633

E-mail fitikawa.moushikomi@fork.ocn.ne.jp URL www.ichikawa-fusae.or.jp

(2016.6)

2016 脱原発1日セミナー

講師プロフィール



小出裕章 (こいで ひろあき) 氏

1949年東京生まれ。東北大学工学部原子核工学科卒、同大学院修了。74年京都大学原子炉実験所助教。2015年3月定年退職。専門は放射線計測、原子力安全。伊方原発訴訟住民側証人。著書に『放射能汚染の現実を超えて』(北斗出版1992/再刊:河出書房新社2011)、『隠される原子力=核の真実』(創史社2010)、『原発のウソ』(扶桑社2011)、『ぜんぶなくす、原発ゼロ世界へ』(エイシア出版2012)、『原発と憲法9条』(遊絲社2012)、『日本のエネルギー、これからどうすればいいの?』(平凡社2012)、『100年後の人々へ』(集英社新書2014)、『原発と戦争を押し進める愚かな国、日本』(毎日新聞出版2015)など。



熊本美彌子 (くまもと みやこ) 氏

60歳まで都内で働き、田舎暮らしをしようと移住した福島で原発事故にあい、避難者となる。現在東京電力と国に賠償を求め裁判中。



澤井正子 (さわい まさこ) 氏

東京生まれ。中央大学経済学部卒業の私立文系女子。1986年のチェルノブイリ原発事故を契機とした「反原発出前のお店」の運動に参加し、脱原発への歩みをはじめ。1992年から原子力資料情報室スタッフとなり、再処理・廃棄物問題を担当。『検証-東電原発トラブル隠し』(共著、岩波ブックレット2002)、『100,000年後の安全』(解説、かんき出版2011)他。娘と時々バトルのパートタイマー主婦。



古川好子 (ふるかわ よしこ) 氏

1963年生まれ。父の転勤により1970年代に富岡町へ。2011年3月11日の東日本大震災により被災し、現在も会津若松市へ避難中。家族離散の状態での避難のため、600kmを越える移動を月に何度もこなしながら家族を繋げている。夫、子ども3人、父の6人家族。



へびいし郁子 (へびいし いくこ) 氏

2005年4月より福島県郡山市議(4期目)。毎議会報告紙を発行し報告会を開催。議会日当の廃止、政務活動費の領収書添付義務を実現。議会基本条例、ひとり親家庭・DV被害者支援、生活保護円滑化、非正規職員・委託労働者・学校司書等の待遇改善、公契約条例制定等に取り組む。2011年3月福島原発爆発事故後は、放射能から命と暮らし・子どもたちを守る活動、線量測定と公開、被ばく防護策提言、被災者支援と東電等の責任追及を進める。

参加申込書

ふりがな お名前			
連絡先	住所	(〒)	
	電話	FAX	
	メール		
受講歴	はじめて参加 <input type="checkbox"/> 前に参加したことがある <input type="checkbox"/>		
現職議員	自治体名		
	所属党派	党籍 有()・無	
議員以外	活動など()		
参加費	郵便振替 <input type="checkbox"/> その他()		
払込方法	払込金額	参加費(12,000円/6,000円)+交流会参加費(1,000円)= 円 *参加費:現職議員以外は6,000円	
参加の きっかけ	議会事務局より <input type="checkbox"/> 当センターからの案内 <input type="checkbox"/> 『女性展望』誌上 <input type="checkbox"/> 当センターHP <input type="checkbox"/> その他()		

FAX 03 - 5388 - 4633

6

様式第6号 (第5条関係)

支 払 証 書

支 払 額 1,040 円

上記の金額を支払ったことを証します。

平成28年 8月 5日

会 派 名 富士見市民ネットワーク
代表者名 加籾 久美子

支払内訳・内容	8月 5日東武東上線みずほ台駅より池袋駅片道360円、 往復720円 池袋駅より代々木駅片道160円、往復320円 計 1,040 円
理 由	脱原発セミナー参加のため
債 権 者 名	東武東上線 JR線

7

No. 24897

発行日 2016年8月23日

◇ 領 収 証 ◇

富士見市民ネットワーク 御中

ご契約番号 : 10324743540000

ご契約者名 : 加藤 久美子

¥ 3,283.ー

(税抜き ¥ 3,040.ー)

但 リース料として

2016年8月8日 上記金額正に領収いたしました



日立キャピタルNB

東京都港区西新橋一丁目3番1号 西新橋スクエア

発行部署名	検印	担当印
カスタマーサービスセンター		

※金額を訂正したものとび会社印並びに検印のないものは無効とします。

※再発行は致しません

様式第1号 (第3条関係)

政務活動費領収書等綴

AA No. 375426

収入印紙

8



お客様コード

平成28年8月13日

DATE

領収証 RECEIPT

RECEIVED FROM

富田市民ネットワ-ワ
加藤 美子 様

領収金額
THE SUM OF

¥25000-

但し
FOR

8/26, 8/27 大宮-高山 往復
JR代金として

上記金額正に領収致しました
The above sum has been duly received.

発行者印



※クレジットカードによる領収(お支払い)の場合、印紙税法上の金銭又は有価証券の
受取に該当しないため、収入印紙の貼付は不要となっています。

FORM OF PAYMENT	
現金 CASH	<input checked="" type="checkbox"/>
小切手 CHECK	<input type="checkbox"/>
銀行振込 BANK REMITTANCE	<input type="checkbox"/>
ギフト券 GIFT TICKET	<input type="checkbox"/>
クレジットカード CREDIT CARD	<input type="checkbox"/>

東武トップツアーズ株式会社
志木支店
〒352-0001 新座市東北2-38-1(志木駅内)
TEL 048(473)4771

収入印紙

9



お客様コード

平成28年8月13日

DATE

領収証 RECEIPT

RECEIVED FROM

富田市民ネットワ-ワ
加藤 美子 様

領収金額
THE SUM OF

¥10800-

但し
FOR

8/26 箱根代金として

上記金額正に領収致しました
The above sum has been duly received.

発行者印



※クレジットカードによる領収(お支払い)の場合、印紙税法上の金銭又は有価証券の
受取に該当しないため、収入印紙の貼付は不要となっています。

FORM OF PAYMENT	
現金 CASH	<input checked="" type="checkbox"/>
小切手 CHECK	<input type="checkbox"/>
銀行振込 BANK REMITTANCE	<input type="checkbox"/>
ギフト券 GIFT TICKET	<input type="checkbox"/>
クレジットカード CREDIT CARD	<input type="checkbox"/>

東武トップツアーズ株式会社
志木支店
〒352-0001 新座市東北2-38-1(志木駅内)
TEL 048(473)4771

往路

8月26日 (金)	東武東上線	みずほ台駅→朝霞台駅
	徒歩	朝霞台駅→北朝霞駅
	JR	北朝霞駅→武蔵浦和駅
		武蔵浦和駅→大宮駅
	新幹線	大宮駅→富山駅

復路

8月27日 (土)	新幹線	富山駅→大宮駅
	JR	大宮駅→武蔵浦和駅
		武蔵浦和駅→北朝霞駅
	徒歩	北朝霞駅→朝霞台駅
	東武東上線	朝霞台駅→みずほ台駅

加藤 久美子		ご一行様	
月/日	ご旅程	お食事	
8/26(金) ~ 8/27(土)	富山エクセルホテル東急 (出張応援価 北陸)	チェックイン 14:00 チェックアウト 11:00 到着予定時間 17:00	- - - - - -
【旅】			

ご案内

◎各行程欄の記号ご説明
 【旅】ご利用の際は施設にこの旅程表をご提示ください。
 ◎ご到着時間を変更される場合は、宿泊施設へご連絡ください。

ご利用案内

8/26 出張応援価 北陸 (13HN377-0)
 富山(5321-003) 代表者氏名：加藤 久美子様
 ~1泊 富山エクセルホテル東急
 シングル禁煙 食無
 食事なし シングル 1室 (バストイレ・禁煙)
 人員：大人 1名
 住所：富山市新富町1-2-3
 電話：076-441-0109
 交通：【公共交通機関利用】JR北陸本線富山駅正面出口→徒歩約2分
 【車利用1】北陸自動車道富山ICから国道41号線約20分 目標物：JR富山駅
 XHORNH-01

旅行代金のご案内 (旅程表に含まれるお支払い代金)

出張応援価 北陸 (13HN377-0) 3種
 8/26 富山エクセルホテル東急
 1名 1室 代金適用 (大人) 10,800円 × 1名
 小計 10,800円

CR その他 () 旅行代金合計 10,800円

旅行代金合計に含まれるもの
 ◎旅程表に明示した運送機関の運賃・料金、宿泊・食事・入湯・観光代金及び消費税等諸税。
 上記諸費用はお客様のご都合により、一部利用されなくても払戻しはいたしません。
 (注) 宿泊施設において、お客様が酒類・料理その他サービス等を追加された場合は、消費税等諸税が課せられますので、あらかじめご了承ください。
 ◎旅程表中運送機関、宿泊・食事・観光施設名に【手配】と記載されている場合は、該当する施設の宿泊確認票またはクーポン券類が別途発行されています。お客様の総旅行費用は、上記「旅行代金合計」と宿泊確認票またはクーポン券類に明示された料金を合算したものととなります。

旅行企画・実施 株式会社JTB国内旅行企画 取扱販売店 TKK志木駅 (F890)	取扱販売店 TKK志木駅 〒352-0001 埼玉県新座市東北2-38-1志木駅内 TEL 048-473-4771
--	--

お客様のご都合で旅行取消の場合は、取扱販売店に連絡をお願いします。但し、取消を決議された日から旅行開始日当日まで取扱販売店が休業日又は営業時間外で連絡がとれない場合は、宿泊施設や各交通機関にお客様ご自身で取消の連絡、手続きをいただいた後、取扱販売店にお申し出ください。取消をされなかった場合は、権利放棄となり、一切の返金を受けられないこととなりますのでご注意ください。
 なお、払戻は出発日より1ヶ月以内に取扱販売店にて承ります。

第8回生活保護問題議員研修会

「貧困の連鎖」を断ち切るために 富山で生活保護を考える。

P o o r c h a i n

子どもの
貧困

住まいの
貧困

老後
破産

下流
老人

8月26日(金)~27日(土) 富山県民共生センター・サンフォルテ

1日目
8月26日(金)
(13:30受付)

11:55 映画上映

ドキュメンタリー映画「隣る人」(自由参加)

13:30 基調報告

生活保護「改革」と生存権の保障 ~生活保護をめぐる最近の動きについて

13:50 講演 1

いまなぜ「下流老人」なのか ~広がる高齢者の貧困と対策の必要性~

15:40 講演 2

自治体に求められる子どもの貧困対策

17:10 特別報告

生活扶助基準引き下げ問題は今…

18:00

交流会(自由参加)

19:00

終了

2日目
8月27日(土)
(9:00受付)

9:30 第1分科会

生活保護なんでもQ&A

9:30 第2分科会

違法運用を起こさない職員体制とは

9:30 第3分科会

生活困窮者自立支援制度は機能しているか

9:30 第4分科会

子どもの学びを自治体でどう支えるか

9:30 第5分科会

自治体で考える住宅セーフティネット

9:30 第6分科会

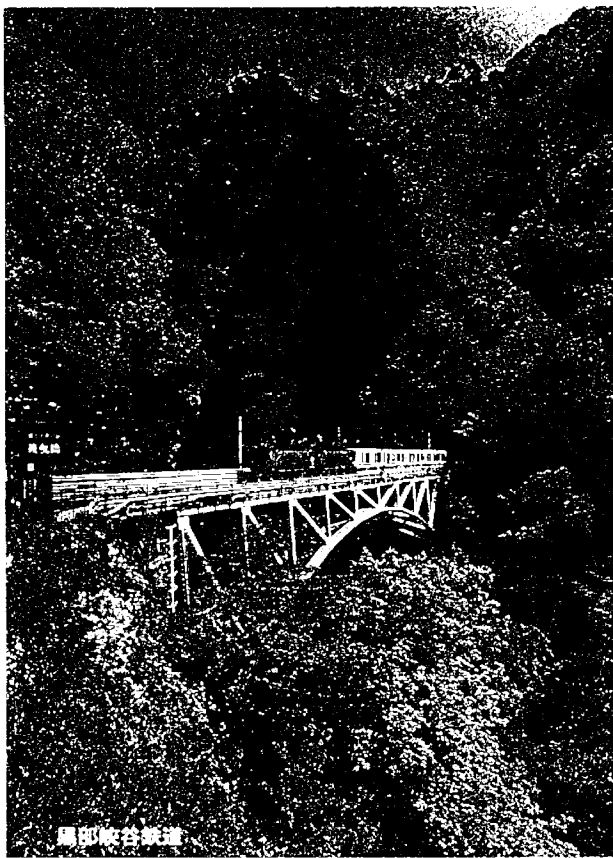
低所得者への医療保障(国保、無料低額診療事業、医療扶助)を考える

13:00 講演 3

反貧困の財政と地方自治~「救済」から「連帯」へ

14:30 まとめ

行政だからできること



行政だからこそ、 出来ることがあります。 連鎖を止める第一歩。

例年、ご好評いただいている地方議員の皆さま方を対象とする生活保護制度に関する研修会を今年も開催いたします。

近年、史上最大の生活保護基準の引き下げや法「改正」が相次ぐ一方、生活困窮者自立支援法や子どもの貧困対策基本法などの新たな法制度も実施され始めています。

各分野の専門家を講師として迎え、地方行政に何ができるのかを考えます。是非、多数ご参加いただけますよう、ご案内申し上げます。

1日目 8月26日(金) (11:30 受付)

11:55~
映画上映
(自由参加)

ドキュメンタリー映画「隣る人」(監督:刀川和也)

地方のとある児童養護施設。ここでは様々な事情で親と一緒に暮らせない子どもたちが「親代わり」の保育士と生活を共にしている。壊れた絆を取り戻そうと懸命に生きる人々の、平凡だけど大切な日々の暮らしは今日も続く。

13:30~
基調
報告

生活保護「改革」と生存権の保障 ~生活保護をめぐる最近の動きについて~

講師:吉永 純さん 全国公的扶助研究会会長・花園大学教授。福祉事務所 20年、生活保護ケースワーカー12年の経験を生かして、貧困問題、生活保護、福祉事務所の在り方を研究。著書は『生活保護「改革」と生存権の保障』(2015年)明石書店など。

13:50~
講演 1

いまなぜ「下流老人」なのか ~広がる高齢者の貧困と対策の必要性~

全国で高齢者の貧困が見えるようになってきました。老老介護、一家心中事件、孤立死、高齢者世帯の生活保護増加、低年金…。今後ますます高齢化が進む地域社会において、まずは現状を把握し、政治や政策的な課題に迫ります。

講師:藤田 孝典さん NPO法人ほっとプラス代表理事、聖学院大学客員准教授。1982年生まれ。社会福祉士。首都圏で生活困窮者支援を行うソーシャルワーカー。生活保護や生活困窮者支援の在り方に関する活動と提言を行う。反貧困ネットワーク埼玉代表。ブラック企業対策プロジェクト共同代表(生活労働省社会保障審議会特別部会委員。著書に『下流老人 一億総老後崩壊の衝撃』(朝日新聞出版 2015)『ひとりも殺さない』(堀之内出版 2013)など。

15:40~
講演 2

自治体に求められる子どもの貧困対策

6人に1人の子どもが貧困状態にある我が国。2013年、子どもの貧困対策法が成立し、自治体は具体的な対策の担い手としての役割が期待されています。自治体はどのような取り組みを進めていけばいいのか、事例を参考に学びながら、地方議員に何ができるのかをお話いただきます。

講師:中塚 久美子さん 朝日新聞生活文化部専門記者(子ども、貧困)。家庭の貧困や学びの格差による高校中退や定時制志願者急増など、子どもの貧困関連報道で2010年、貧困ジャーナリズム賞受賞。著書に『貧困のなかでおとなになる』(かもがわ出版)。

17:10~
特別
報告

生活扶助基準引き下げ問題は今…

全国26都道府県で850名を超える原告が違憲訴訟を提起して立ち上がっています。何が問題か弁護団の弁護士が報告するとともに、当事者の生活実態と訴訟にける思いについて原告が語ります。

講師:西山 貞義さん 生活保護基準引き下げ違憲訴訟富山弁護団事務局長。2007年検事任官。2010年検事退官、弁護士登録。ホームレス等生活困窮者支援に取り組んでいる。富山県弁護士会貧困問題対策委員会委員長等。



- 初めて参加しましたが、たいへん勉強になりました。頭の中でバラバラになっていた社会保障、生活保護をキーワードにつながった気がします。
- 毎回、目からウロコの学習をさせていただいています。生活困窮者支援の声を政策に活かす為頑張ります。ケースワーカーの待遇改善もワーキングプア対策として重視しています。
- このような全面的な議員研修会が、毎年、7回にわたって開催されていることは素晴らしいことです。今後も出来る限り参加したいと思います。

生活保護なんでもQ&A

9:30~
第1
分科会

生活保護相談でよく問題になる論点について、「歩く生活保護手帳」と呼ばれ、あるべき実務運用を知り尽くした鉄壁コンビが解説します。議員の皆さんの悩みや質問にも即座に回答。当議員研修会の定番分科会です。

講師：齋本 郁さん 神戸公務員ボランティア。阪神淡路大震災の支援活動の中で生まれた「神戸の冬を支える会」(ホームレス支助)や「NGO神戸外国人救援ネット」(外国人支援)の活動にたずさわる。元神戸市職員。

講師：林 直久さん 自治体職員。ケースワーカーをはじめ、生活保護の仕事に20年近く携わり、生活保護の実務運用を隅々まで知り尽くす。共著に「誰も書かなかった生活保護法」、「これが生活保護だ」などがある。

講師：森 弘典さん 弁護士。1999年弁護士登録。司法修習中に、野宿労働者の生活保護適用・稼働能力活用が問題となった林訴訟に関わる。2002年、愛知県弁護士会の人権擁護委員会に生活保護問題チーム(後に部会)を立ち上げ、2003年以降、炊き出しの場で行う野宿者総合法律相談を企画し実施する。日弁連・貧困問題対策本部委員。

違法運用を起こさない職員体制とは

9:30~
第2
分科会

生活保護現場は、経験年数3年未満のケースワーカーが約63%を占めています。「標準数」をはるかに超える世帯を担当したり、非正規雇用のケースワーカーも増えています。また、指導監督する査察指導員も生活保護業務未経験者が配置されています。本分科会では、絶えない違法運用の背景にある職員体制を改善するにはどうすれば良いかを考えます。

講師：松崎 喜良さん 神戸女子大学教授。大阪市役所で31年間、生活保護ケースワーカーに従事。大学での仕事をする傍ら、生活保護問題対策全国会議、全国公的扶助研究会などにも参加。大阪市生活保護行政問題全国調査団では、大阪市の職員体制問題を担当した。

講師：衛藤 晃さん 神戸市兵庫区役所保護課、全国公的扶助研究会事務局次長。人と接する仕事がしたくて大学では公的扶助を専攻。生活保護ケースワーカー19年目。これまでの経験と実践を通して、福祉事務所のケースワーカーのあり方、実施体制のあり方について、様々な形で研究中。

生活困窮者自立支援制度は機能しているか

9:30~
第3
分科会

生活困窮者自立支援法は、2015年4月から、福祉事務所を設置する全ての自治体に「自立相談支援事業」の実施を義務づけました。制度開始から1年を過ぎ、本当に生活困窮者のための制度として機能しているのでしょうか。現状と問題点、有効な活用方法、そして改善への展望を探ります。

講師：谷口 伊三美さん 生活保護ケースワーカー養成講座代表。27年にわたり、大阪市東淀川区で生活保護の現業に携わる。2014年度からは生活困窮者自立支援法の関連事業も担当。後進育成のため、自主的研修会である生活保護ケースワーカー養成講座を運営。

講師：仲野 浩司郎さん 羽曳野市市立自立相談支援窓口、主任相談支援員。大学卒業後、民間の医療機関で医療ソーシャルワーカーとして勤務。平成21年に羽曳野市に入職し生活保護CWを経て、現在は生活困窮者自立支援制度を担当。主任相談支援員として困窮者の支援を行っている。

講師：小久保 哲郎さん 弁護士、生活保護問題対策全国会議事務局長。1995年大阪弁護士会登録。野宿からの居宅保護を求めた佐藤訴訟など、野宿生活者や生活保護利用者の法律相談や裁判に取り組んできた。編著に「すぐそこにある貧困」(法律文化社)、「Q&A 生活保護利用者の法律相談」(新日本法規)など。

子どもの学びを自治体でどう支えるか

9:30~
第4
分科会

生活保護法で義務教育や高校生にどのような扶助をしているのか、大学等への進学についての扱いについて説明します。そのうえで、貧困の連鎖を避けるためには、現在の制度や運用のどこに課題があり、それを補うために、自治体でできることは何かについて考えます。

講師：田川 英信さん 東京都世田谷区玉川福祉事務所。東京都世田谷区で、生活保護ケースワーカー、保護係長を15年間経験し、定年退職。現在、再任用で再び生活保護職場に戻り、現場での問題意識を発信し続けている。全国公的扶助研究会運営委員・生活保護問題対策全国会議幹事

講師：中塚 久美子さん 朝日新聞生活文化部専門記者(子ども、貧困)。家庭の貧困や学びの格差による高校中退や定時制志願者急増など、子どもの貧困関連報道で2010年、貧困ジャーナリズム賞受賞。著書に「貧困のなかでおとなになる」(かもがわ出版)。

自治体で考える住宅セーフティネット

9:30~
第5
分科会

昨年の研修会の講演で初めて住宅問題を取り上げたところ好評を頂いたので、分科会で取り上げてさらに深めることにしました。先進地域の取り組みをご紹介します。自治体でできる住宅政策を考えます。

講師：稲葉 剛さん 住まいの貧困に取り組むネットワーク世話人。1994年より、東京で路上生活者を中心とした生活困窮者の相談支援に取り組む。2014年に一般社団法人つくろい東京ファンドを立ち上げ、空き家を活用した居住支援をおこなっている。立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科特任准教授。

講師：露木 尚文さん (株)都市・住宅問題研究所代表取締役。都市計画コンサルタント。一級建築士、技術士(都市及び地方計画)。2012年より豊島区居住支援協議会の事務局メンバーとして、空き家を活用した居住支援の仕組みづくりに取り組んでいる。日本住宅会議理事。

低所得者への医療保障(国保、無料低額診療事業、医療扶助)を考える

9:30~
第6
分科会

市町村国保会計の徹底分析による国保料引き下げの展望、2018年度からの都道府県単位化による影響、国保からの排除層の受け皿となっている無料低額診療事業・生活保護の医療扶助の課題について、最新情報をもとに考えます。寺内順子著「基礎から学ぶ国保」(2015年日本機関紙出版センター)をお持ちの方はご持参ください。

講師：寺内 順子さん 大阪社会保険推進協議会事務局長。佛教大学社会学部卒業後豊中市の障害児・者施設に勤務。1991年大阪社会保険推進協議会入局。所謂「無保険の子ども」解消のきっかけとなった調査を2008年6月に実施し、発信した。著書(共著含む)に「国保広域化でいのちは守れるのか?」(かもがわ出版)等。

講師：吉永 純さん 全国公的扶助研究会会長・花園大学教授。福祉事務所20年、生活保護ケースワーカー12年の経験を生かして、貧困問題、生活保護、福祉事務所の在り方を研究。著書は『生活保護「改革」と生存権の保障』(2015年) 明石書店など。

反貧困の財政と地方自治~「救済」から「連帯」へ

13:00~
講演3

多くの社会保障分野で「財源不足」を理由に削減が相次いでいます。人間の暮らしを支えるという「国の財政」の本来的使命を果たすためには、どのような税と社会保障の制度が必要なのか、地方政治に出来ることは何か。気鋭の経済学者の提言です。

講師：高端 正幸さん 埼玉大学准教授。東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。聖学院大学、新潟県立大学等を経て、2015年より現職。博士(経済学)。東京都税制調査会委員、新潟県税制調査会委員等を務める。著書に「復興と日本財政の針路」(岩波書店)、「地域切り捨て-生きていけない現実」(岩波書店、金子勝氏との共編著)等。

行政だからできること

14:30~
まとめ

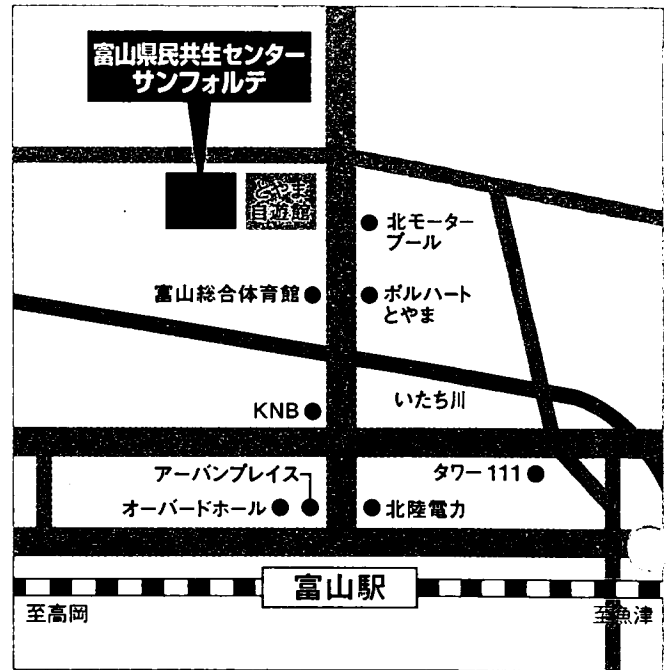
尾藤 廣喜さん 弁護士、生活保護問題対策全国会議代表幹事。70年、厚生省入省。75年、京都弁護士会に弁護士登録後、数々の生活保護裁判を勝利に導いてきた。日弁連・貧困問題対策本部副本部長。著書に「生存権」「生活保護「改革」ここが焦点だ!」(共著)など。

研修会タイムテーブル・会場情報

1日目 8月26日(金)

11:55 13:30 13:50 15:20 15:40 17:10 17:45 18:00 19:00

映画上映 (自由参加)	開 会 換 拶	基 調 報 告	講 演 1	休 憩	講 演 2	特 別 報 告	交 流 会 (自由参加)
----------------	------------------	------------------	-------------	--------	-------------	------------------	-----------------------



2日目 8月27日(土)

9:30 12:00 13:00 14:30 15:00

分 科 会 (1~6)	昼 食	講 演 3	ま と め
----------------------	--------	-------------	-------------

富山県民共生センター・サンフォルテ

〒930-0805 富山県富山市湊入船町6-7
 TEL.076-432-4500 FAX.076-432-5525
 富山駅北口より徒歩約10分
 富山きときと空港より車で約30分

参加のお申し込み

- 定員 300名(請求書を送付し、ご送金の順にお席を確保し領収書をお送りいたします。)
- 参加費 1万5,000円 **キャンセル料=8月1日以降 1万円 8月10日以降 1万5,000円**
- お弁当 900円(2日目昼食、8月15日以降のキャンセルはご遠慮ください)
- 交流会 1日目 8月26日(金) 午後6時から、研修会場で交流会を行います。参加費 1,000円(軽食・ソフトドリンク付き)

■講座内容問合せ先・参加申込先(宿泊先ホテルは、お手数ですが各自で確保いただきますようお願い致します)

マック・チャレンジサポート議員研修会受付担当

TEL.070-5567-4771 FAX.03-6912-4854 E-mail▶koufuken@gmail.com 営業時間:平日9:00~17:00 土曜・日曜日定休

第8回生活保護問題議員研修会参加申込書

氏名(フリガナ) _____	所属等 ()党・無所属 都道 市区 府県 町村 現在 ()期目
領収書宛名表記 □研修参加費と弁当・交流会費に領収証を分けて欲しい	1日目の交流会 <input type="checkbox"/> 参加する <input type="checkbox"/> 参加しない 2日目の昼食 <input type="checkbox"/> 弁当を注文する <input type="checkbox"/> 弁当を注文しない
住所 〒 _____	希望分科会 <input type="checkbox"/> 第1 <input type="checkbox"/> 第2 <input type="checkbox"/> 第3 <input type="checkbox"/> 第4 <input type="checkbox"/> 第5 <input type="checkbox"/> 第6
TEL. _____ FAX. _____	参加費 円 1日目交流会 円 2日目昼食 円 送金額合計 円
通信欄(事務局へのご要望等ありましたらご記入ください)	

様式第1号 (第3条関係)

政務活動費領収書等綴

収入印紙

10



AA No. 375424

お客様コード

平成 28年 8月 13日

DATE

領 収 証 RECEIPT

RECEIVED FROM

富田市民ネット7-7
山口 美子 様

領 収 金 額
THE SUM OF

¥ 8620-

但し
FOR

8/20 札 大宮-福島 JR代金

上記金額正に領収致しました
The above sum has been duly received.

発行者印



※クレジットカードによる領収(お支払い)の場合、印紙税法上の金銭又は有価証券の
受取に該当しないため、収入印紙の貼付は不要となっています。

FORM OF PAYMENT

現金 CASH	<input checked="" type="checkbox"/>
小切手 CHECK	<input type="checkbox"/>
銀行振込 BANK REMITTANCE	<input type="checkbox"/>
ギフト券 GIFT TICKET	<input type="checkbox"/>
クレジットカード CREDIT CARD	<input type="checkbox"/>

東武トップツアーズ株式会社
志 木 支 店
〒32-0001 新座市東北2-38-1(志木駅内)
TEL 048(473)4771

往路

8月20日 (土)	東武東上線	みずほ台駅→朝霞台駅
	徒歩	朝霞台駅→北朝霞 駅
	JR	北朝霞 駅→武蔵浦和駅
		武蔵浦和駅→大宮駅
	山形新幹線	大宮駅→福島駅

復路

8月21日 (日)	山形新幹線	福島駅→大宮駅
	JR	大宮駅→武蔵浦和駅
		武蔵浦和駅→北朝霞駅
	徒歩	北朝霞駅→朝霞台駅
	東武東上線	朝霞台駅→みずほ台駅

避難者支援の打ち切り、甲状腺被害の増加、いま帰還はかなうのか。福島を身近に感じてください。

2016年8月20日・21日 議員研修会 第4回 福島を忘れない！ 全国シンポジウム・現地視察

シンポジウム：8月20日(土) 13:30～16:30 (13時間開場)
会場：ホテル福島グリーンパレス(福島駅すぐ)
◎講演会後に交流会があります(予定 17:00～19:30)

【講演】

『福島第一原発事故 その時浪江町は』
浪江町長 馬場有氏



【報告】

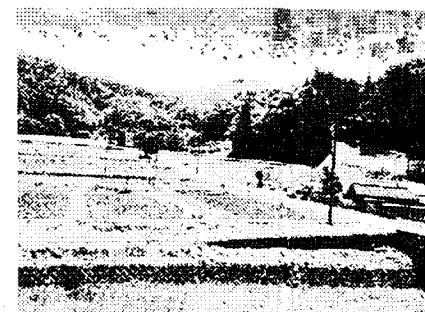
『避難解除地区の現状は』
川俣町議会議員 菅野清一氏 避難者訴訟
山木屋原告団長

『原発立地の町村は』
双葉町 小川貴永氏 避難者訴訟原告団事務局

『避難解除の村は』
川内村議会議員 志田篤氏

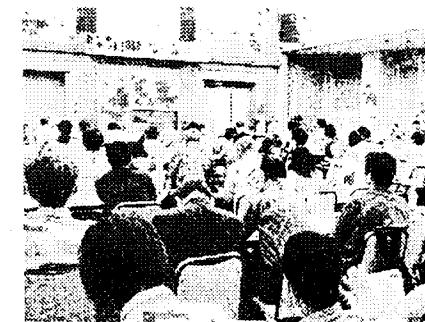
『避難解除後の町は』
楢葉町 金井直子氏 避難者訴訟原告団務局長

『大熊町の現状』
大熊町議会議員 木幡ますみ氏



【記念イベント】

『ふくしまの今』
「おしどり」マコ&ケン



○終了後：原発被害自治体議員との交流と懇親会

現地視察：8月21日(日) 7:10am ホテル福島グリーンパレス前集合

※裏面に、費用の詳細と申込用紙があります。ご希望の方は記入の上、Faxでお申込みください。

福島を忘れない！全国シンポジウム実行委員会.....

呼びかけ：相沢一正前東海村議会議員・佐藤英行岩内町議会議員
福士敬子元東京都議会議員・武笠元松戸市議会議員

〒168-0072 東京都杉並区高井戸東3-36-14-301 TEL/FAX 03-5936-0311
郵便振替 00110-7-449067 <http://nonukesjapan.org/>

【8/21現地視察行程】

説明員：現地の議員・市民

福島市ホテルグリーンパレス集合

福島市→飯館村(村役場見学)

→南相馬道の駅(トイレタイム)

国道6号線 浪江町役場 国道6号線

請戸地区(第一原発が見えます) 国道6号線

四倉道の駅(最終地点)

※注意事項

①四倉道の駅を最終地点に、福島および東京へ戻るバスは分かれることになります。

②昼食は、途中で購入し、車中で済ませることになります。但し、運行状況によっても変わりますので、詳細は当日にお知らせします。



申込用紙

申込み：Fax 03-5936-0311 振込先(郵便振替) 00110-7-449067
 問合せ先：090-5497-4222 名義：反原発自治体議員・市民連盟 ※通信欄に「福島シンポ」とご明記下さい。郵便振替(入金)をもってお申し込みとさせていただきます

下記に○を記入しお申し込みください。定員(往復バス44人、現地集合44人)になり次第、締め切らせていただきます。

お名前	新宿往復バスツアー (保険加入のため生年月日が必要です)	現地直行			
		シンポジウム	交流会	ホテル宿泊	現地バスツアー
ご住所					
携帯・Eメール					
メール					

※往復バスご利用の方は保険加入のためご記入ください。生年月日(西暦) 年 月 日

●現地直行の参加費：議員19,000円・市民17,000円【内訳：シンポジウム議員3,000円、市民1,000円、交流会(お弁当・飲み物つき)4,000円、宿泊費・朝食付き8,000円、8月21日：現地視察(バス)4,000円】

●福島被害自治体議員：1,000円(交流会費 無料)

●新宿から往復バス：8月20日(土)新宿西口ロソバルビル前 7:00集合、7:30出発。

議員26,000円(交通費往復、保険、ホテル宿泊費、シンポ・交流会、現地視察、すべて含む)

◎領収証が必要な方は右記に○をしてください。当日お渡しいたします。領収書：要()

通信欄(何かありましたらご自由にお書きください)

様式第1号 (第3条関係)

政務活動費領収書等綴

12

ご利用明細

本日はご来店いただきありがとうございます。ご利用明細をご確認のうえ、お持ち帰りください。裏面のご案内もあわせてごらんください。

SMBC

☆☆お振込☆☆

お振込金額 ¥30,000
振込手数料 ¥108

お受取人は

銀行

支店

普通 #

様

お振込人は

カククミコ様

お取扱日 28. 8. 15 電信振込

取扱店 番号 年月日 時刻
6243228 8.15 10:01

5166

銀行番号 店番号 口座番号等
000202584074****1811

三井住友銀行

印紙税申告納
付につき
税務署承認済

【領収書】

平成 28 年 8 月 17 日

富士見市民ネットワーク 加藤久美子

生活保護問題議員研修会

受付事務局

〒173-0004 東京都板橋区板橋 4-4-3

白鳩マンション 201

マックチャレンジサポート方

第8回生活保護問題議員研修会参加費

¥15,000

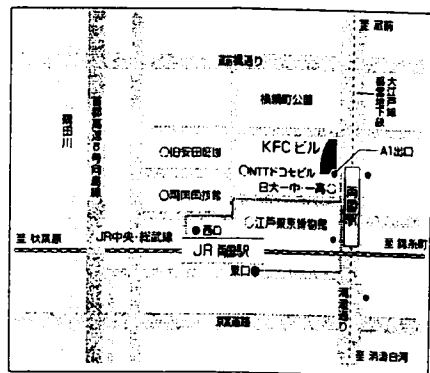
合計

¥15,000

上記、正に領収いたしました。

第18期 自治政策講座 in 東京

「地方財政と防災・介護など 緊急課題に備える」



都営地下鉄大江戸線「両国駅」A1出入口に直結/
JR中央・総武線「両国駅」東口より徒歩約6分。

日 時 2016年8月22日(月)、23日(火)
場 所 KFCホールアネックス JR・地下鉄 両国駅そば
〒130-0015 東京都墨田区横網1-6-1 国際ファッションセンタービル
お問合せ 自治体議会政策学会事務局 TEL 03-5227-1827

所得格差・地域格差の拡大が地方財政や税制、地域福祉のあり方を改めて問うています。また、熊本から大分にかけての大地震は、経験した事のない経緯で被害を拡大するなど、災害列島の活動は活発になっているようで、備えは緊急課題と

なっています。予算編成や決算審議では、今一度、防災・減災の対策の進捗に留意することが大切です。高齢化問題も含め各課題の第一人者からお話を伺い、議会での議論にお役立て下さい。

8月22日(月) 13:00~16:30

第1講義

これからの地方財政の動向と2016年度の諸課題

神野 直彦(東京大学名誉教授・地方財政調査会会長)

国の地財計画の動向を踏まえ、地域格差や高齢化に取組む自治体が直面する課題解決に向けた財政運営とはなにか、予算編成や決算審議へ向けた視点を伺う。また、日銀のマイナス金利導入で地方債負担が減り有利な条件で資金調達が可能となる。この事態を活用すべきなのか、自治体財政の規律は維持できるのかなど、その影響を伺う。

第2講義

活断層と地震—被害軽減へハザードマップの見直し

渡辺 満久(東洋大学社会学部教授)

熊本地震は死者49人、関連死疑い19人に。避難生活でエコノミークラス症候群や感染症が警戒される。断層帯が連動して動き地震発生とみられる。講師は、活断層を知ることが防災につながると、原発立地についても発言をしてきた活断層の第一人者。自治体のハザードマップ見直しなど、地震からの防災・減災対策を伺う。

8月23日(火) 10:00~16:30

第3講義

いざという時に役立てる—避難所運営HUGの紹介と体験

倉野 康彦(静岡県地震防災アドバイザー・HUGのわ主宰)

避難所HUGは、避難所運営を住民自ら考えるため静岡県が開発した。避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲーム。講師はこのHUGの開発者で、指導で全国を奔走している。ゲームを直接体験することで避難所のイメージが具体化し、今後の政策づくりに役立つ。

第4講義

自治体と地方税制の諸課題

池上 岳彦(立教大学経済学部教授・東京都税制調査会会長)

真の地方自治を実現するには、地方の基幹税を整備し、財政調整制度が必要とする講師は、高齢化・少子化時代の公共サービスを支える税制、政府間財政関係などの研究において第一人者。分権時代にふさわしい税制、所得税・消費税の公平な抜本改革とはなにか、また、近年の税制改革の動向、交付税の改革の方向を伺う。

第5講義

介護移住の実態とこれからの高齢者政策

中澤 克佳(東洋大学経済学部教授)

講師は、高齢者の移動と介護サービス水準の関連を研究している。施設介護サービスの充実した自治体へ後期高齢者が移動する「介護移住」は、一部の都市圏だけではなく全国的に確認されることを明らかにした。このような動向を踏まえ、これからの介護保険制度のあり方はどのように考えるべきかなど、持続可能な高齢者政策・制度設計をお話いただく。

神野直彦 (東京大学名誉教授・地方財政調査会会長) ————— 8月22日(月) 第1講義

東京大学卒業。民間企業を経て1978年東京大学大学院経済学研究科修士課程取得、同博士課程単位取得退学。大阪市立大学助教授、東京大学大学院教授などを経て、2009年より東京大学名誉教授。現在、地方財政審議会会長、税制調査会会長代理、社会保障審議会年金部会会長、地方分権改革有識者

会議座長など多数の審議会等委員を務める。近著に「『人間国家』への改革—参加保障型の福祉社会をつくる」(NHKブックス)、「日本の地方財政」小西 砂千夫と共著、(有斐閣)、「『分かち合い』の経済学」(岩波新書)、「税金 常識のウソ」(文春新書)がある。

渡辺満久 (東洋大学社会学部教授) ————— 8月22日(月) 第2講義

東京大学卒業、東京大学 理学系研究科 地理学 (理学博士) 東洋大学文学部 助教授を経て、東洋大学社会学部 助教授、2002年から現職。
鈴木康弘編「ハザードマップを見直そう」岩波書店、「土地の『未来』は地形でわかる—災害を予測する変動地形学の世

界」日経BP、「『最悪』の核施設 六ヶ所再処理工場」渡辺満久、小出裕章・明石昇二郎 (集英社新書)、「わたしの3・11」渡辺 満久、茂木健一郎 編 (毎日新聞社)、「日本の地形3 東北」渡辺満久、小池一之・田村俊和・鎮西清高・宮城豊彦 編 (東京大学出版会) など。

倉野康彦 (静岡県地震防災アドバイザー・HUGのわ主宰) ————— 8月23日(火) 第3講義

1978年 静岡県入庁。土木部地震防災対策担当、危機管理部危機管理、防災行政を担当、2007年度避難所HUG開発、2008年度HUG製品化。2013年度全国市町村国際文化研修所研修にHUG採用。2014年度全国知事会先進政策バンクの優秀施策に選定。消防科学総合センター「風水害図上訓練の教

材作成に関する検討会」委員。内閣府の防災スペシャリスト研修。国際交流バージョン、救護所併設バージョン、ホテル旅館バージョン等の姉妹ゲームを試作・実施。2016年3月静岡県を定年退職後静岡県地震防災アドバイザーに就任、各地でHUGの普及に努める。

池上岳彦 (立教大学経済学部教授・東京都税制調査会会長) ————— 8月23日(火) 第4講義

1982年、東北大学法学部卒業。1991年、東北大学より博士(経済学)の学位を取得。新潟大学商業短期大学部講師・助教授、同経済学部助教授・教授を経て、1999年より立教大学経済学部教授。
「カナダの財政調整制度」(立教経済学研究)が第29回/2003(平

15)年度藤田賞受賞。
主な著書に「分権化と地方財政」(岩波書店)、「現代財政を学ぶ」(編著。有斐閣)、「地方税制改革」(編著。ぎょうせい)、「地方交付税・何が問題か」(共編著。東洋経済新報社)、「租税の財政社会学」(共編著。税務経理協会)がある。

中澤克佳 (東洋大学経済学部教授) ————— 8月23日(火) 第5講義

2001年、中央大学卒業。2007年、慶應義塾大学経済学研究科博士後期課程修了。博士(経済学)。同年、東洋大学経済学部講師。准教授を経て2016年より現職。会計検査院特別研究官、総務省 地方分権に関する基本問題についての調査研究会 専門委員など。

著書に、「平成の大合併」の政治経済学」(宮下量久との共著・勁草書房)、「介護サービスの実証研究：制度変化と政策対応」(三菱経済研究所)、「自治体における財政格差の諸相」(共著・日本都市センター)など。

お申し込み
要領

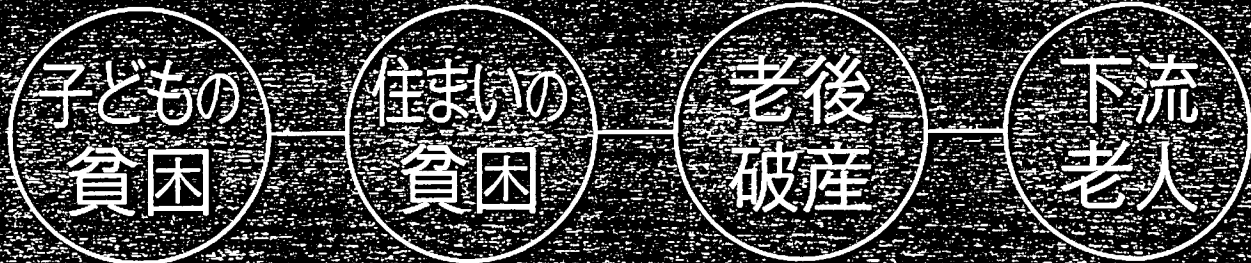
1. お申し込み方法下記に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。
2. 受講料2日間参加/30,000円 1日のみ参加/20,000円
3. お申し込み後に送付します受講確認票に従って受講料をお振込ください。

申し込み用紙		FAX : 03-5227-1828		第18期 自治政策講座 in 東京	
▼氏名 (フリガナ)		▼電話		▼FAX	
		▼E-mail			
▼住所				▼所属 (議会・団体等)	
〒 -					
申込日に☑を 入れてください	全日程参加		1日のみ参加		
	☐ 8月22日(月)~23日(火)		☐ 8月22日(月)のみ参加		☐ 8月23日(火)のみ参加

第8回生活保護問題議員研修会

「貧困の連鎖」を断ち切るために 富山で生活保護を考える。

P o o r c h a i n



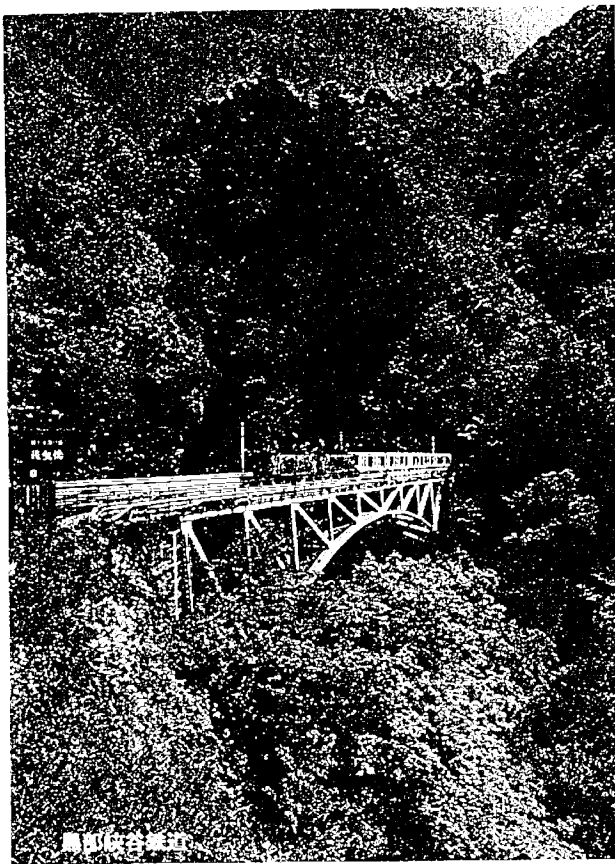
8月26日(金)~27日(土) 富山県民共生センター・サンフォルテ

1 日目
8月26日(金)
(11:30 受付)

- 11:55 映画上映 ドキュメンタリー映画「隣る人」(自由参加)
- 13:30 基調報告 生活保護「改革」と生存権の保障 ~生活保護をめぐる最近の動きについて
- 13:50 講演 1 いまなぜ「下流老人」なのか ~広がる高齢者の貧困と対策の必要性~
- 15:40 講演 2 自治体に求められる子どもの貧困対策
- 17:10 特別報告 生活扶助基準引き下げ問題は今…
- 18:00 交流会(自由参加)
- 19:00 終了

2 日目
8月27日(土)
(9:00 受付)

- 9:30 第1分科会 生活保護なんでもQ&A
- 9:30 第2分科会 違法運用を起こさない職員体制とは
- 9:30 第3分科会 生活困窮者自立支援制度は機能しているか
- 9:30 第4分科会 子どもの学びを自治体でどう支えるか
- 9:30 第5分科会 自治体で考える住宅セーフティネット
- 9:30 第6分科会 低所得者への医療保障(国保、無料低額診療事業、医療扶助)を考える
- 13:00 講演 3 反貧困の財政と地方自治~「救済」から「連帯」へ
- 14:30 まとめ 行政だからできること



行政だからこそ、 出来ることがあります。 連鎖を止める第一歩。

例年、ご好評いただいている地方議員の皆さま方を対象とする生活保護制度に関する研修会を今年も開催いたします。

近年、史上最大の生活保護基準の引き下げや法「改正」が相次ぐ一方、生活困窮者自立支援法や子どもの貧困対策基本法などの新たな法制度も実施され始めています。

各分野の専門家を講師として迎え、地方行政に何が出来るのかを考えます。是非、多数ご参加いただけますよう、ご案内申し上げます。

1日目 8月26日(金) 14:30(開演)

11:55~
映画上映
(自由参加)

ドキュメンタリー映画「隣る人」(監督:刀川和也)

地方のとある児童養護施設。ここでは様々な事情で親と一緒に暮らせない子どもたちが「親代わり」の保育士と生活を共にしている。壊れた絆を取り戻そうと懸命に生きる人々の、平凡だけど大切な日々の暮らしは今日も続く。

13:30~
基調
報告

生活保護「改革」と生存権の保障 ~生活保護をめぐる最近の動きについて~

講師:吉永 純さん 全国公的扶助研究会会長・花園大学教授。福祉事務所 20年、生活保護ケースワーカー12年の経験を生かして、貧困問題、生活保護、福祉事務所の在り方を研究。著書は「生活保護「改革」と生存権の保障」(2015年)明石書店など。

13:50~
講演 1

いまなぜ「下流老人」なのか ~広がる高齢者の貧困と対策の必要性~

全国で高齢者の貧困が見えるようになってきました。老老介護、一家心中事件、孤立死、高齢者世帯の生活保護増加、低年金…。今後ますます高齢化が進む地域社会において、まずは現状を把握し、政治や政策的な課題に迫ります。

講師:藤田 孝典さん NPO法人ほっとプラス代表理事、聖学院大学客員准教授。1982年生まれ。社会福祉士。首都圏で生活困窮者支援を行うソーシャルワーカー。生活保護や生活困窮者支援の在り方に関する活動と提言を行う。反貧困ネットワーク埼玉代表。ブラック企業対策プロジェクト共同代表。生労働省社会保障審議会特別部会委員。著書に「下流老人 一億総老後崩壊の衝撃」(朝日新聞出版 2015)「ひとりも殺させない」(堀之内出版 2013)など。

15:40~
講演 2

自治体に求められる子どもの貧困対策

6人に1人の子どもが貧困状態にある我が国。2013年、子どもの貧困対策法が成立し、自治体は具体的な対策の担い手としての役割が期待されています。自治体はどのような取り組みを進めていけばいいのか、事例を参考に学びながら、地方議員に何が出来るのかをお話いただきます。

講師:中塚 久美子さん 朝日新聞生活文化部専門記者(子ども、貧困)。家庭の貧困や学びの格差による高校中退や定時制志願者急増など、子どもの貧困関連報道で2010年、貧困ジャーナリズム賞受賞。著書に「貧困のなかでおとなになる」(かもがわ出版)。

17:10~
特別
報告

生活扶助基準引き下げ問題は今…

全国26都道府県で850名を超える原告が違憲訴訟を提起して立ち上がっています。何が問題か弁護団の弁護士が報告するとともに、当事者の生活実態と訴訟にかける思いについて原告が語ります。

講師:西山 貞義さん 生活保護基準引き下げ違憲訴訟富山弁護団事務局長。2007年検事任官。2010年検事退官、弁護士登録。ホームレス等生活困窮者支援に取り組んでいる。富山県弁護士会貧困問題対策委員会委員長等。

これまでの
参加者の声

- 初めて参加しましたが、たいへん勉強になりました。頭の中でバラバラになっていた社会保障、生活保護をキーワードにつながった気がします。
- 毎回、目からウロコの学習をさせていただいています。生活困窮者支援の声を政策に活かす為頑張ります。ケースワーカーの待遇改善もワーキングプア対策として重視しています。
- このような全面的な議員研修会が、毎年、7回にわたって開催されていることは素晴らしいことです。今後も出来る限り参加したいと思います。

生活保護なんでもQ&A

9:30~
第1
分科会

生活保護相談でよく問題になる論点について、「歩く生活保護手帳」と呼ばれ、あるべき実務運用を知り尽くした鉄壁コンビが解説します。議員の皆さんの悩みや質問にも即座に回答。当議員研修会の定番分科会です。

講師：紫本 郁さん 神戸公務員ボランティア。阪神淡路大震災の支援活動の中で生まれた「神戸の冬を支える会」(ホームレス支助)や「NGO神戸外国人救援ネット」(外国人支援)の活動にたずさわる。元神戸市職員。

講師：林 直久さん 自治体職員。ケースワーカーをはじめ、生活保護の仕事に20年近く携わり、生活保護の実務運用を隅々まで知り尽くす。共著に「誰も書かなかった生活保護法」、「これが生活保護だ」などがある。

講師：森 弘典さん 弁護士。1999年弁護士登録。司法修習中に、野宿労働者の生活保護適用・稼働能力活用が問題となった林訴訟に関わる。2002年、愛知県弁護士会の人権擁護委員会に生活保護問題チーム(後に部会)を立ち上げ、2003年以降、炊き出しの場で行う野宿者総合法律相談を企画し実施する。日弁連・貧困問題対策本部委員。

違法運用を起こさない職員体制とは

9:30~
第2
分科会

生活保護現場は、経験年数3年未満のケースワーカーが約63%を占めています。「標準数」をはるかに超える世帯を担当したり、非正規雇用のケースワーカーも増えています。また、指導監督する査察指導員も生活保護業務未経験者が配置されています。本分科会では、絶えない違法運用の背景にある職員体制を改善するにはどうすれば良いかを考えます。

講師：松崎 喜良さん 神戸女子大学教授。大阪市役所で31年間、生活保護ケースワーカーに従事。大学での仕事をする傍ら、生活保護問題対策全国会議、全国公的扶助研究会などにも参加。大阪市生活保護行政問題全国調査団では、大阪市の職員体制問題を担当した。

講師：衛藤 晃さん 神戸市兵庫区役所保護課。全国公的扶助研究会事務局次長。人と接する仕事が好きで大学では公的扶助を専攻。生活保護ケースワーカー19年目。これまでの経験と実践を通して、福祉事務所のケースワーカーのあり方、実施体制のあり方について、様々な形で研究中。

生活困窮者自立支援制度は機能しているか

9:30~
第3
分科会

生活困窮者自立支援法は、2015年4月から、福祉事務所を設置する全ての自治体に「自立相談支援事業」の実施を義務づけました。制度開始から1年を過ぎ、本当に生活困窮者のための制度として機能しているのでしょうか。現状と問題点、有効な活用方法、そして改善への展望を探ります。

講師：谷口 伊三美さん 生活保護ケースワーカー養成講座代表。27年にわたり、大阪市東淀川区で生活保護の現業に携わる。2014年度からは生活困窮者自立支援法の関連事業も担当。後進育成ため、自主的研修会である生活保護ケースワーカー養成講座を運営。

講師：仲野 浩司郎さん 羽曳野市自立相談支援窓口、主任相談支援員。大学卒業後、民間の医療機関で医療ソーシャルワーカーとして勤務。平成21年に羽曳野市に入職し生活保護CWを経て、現在は生活困窮者自立支援制度を担当。主任相談支援員として困窮者の支援を行っている。

講師：小久保 哲郎さん 弁護士、生活保護問題対策全国会議事務局長。1995年大阪弁護士会登録。野宿からの居宅保護を求めた佐藤訴訟など、野宿生活者や生活保護利用者の法律相談や裁判に取り組んできた。編著に「すぐそこにある貧困」(法律文化社)、「Q&A 生活保護利用者の法律相談」(新日本法規)など。

子どもの学びを自治体でどう支えるか

9:30~
第4
分科会

生活保護法で義務教育や高校生にどのような扶助をしているのか、大学等への進学についての扱いについて説明します。そのうえで、貧困の連鎖を避けるためには、現在の制度や運用のどこに課題があり、それを補うために、自治体でできることは何かについて考えます。

講師：田川 英信さん 東京都世田谷区玉川福祉事務所。東京都世田谷区で、生活保護ケースワーカー、保護係長を15年間経験し、定年退職。現在、再任用で再び生活保護職場に戻り、現場での問題意識を発信し続けている。全国公的扶助研究会運営委員・生活保護問題対策全国会議幹事

講師：中塚 久美子さん 朝日新聞生活文化部専門記者(子ども、貧困)。家庭の貧困や学びの格差による高校中退や定時制志願者急増など、子どもの貧困関連報道で2010年、貧困ジャーナリズム賞受賞。著書に「貧困のなかで子どもになる」(かもがわ出版)。

自治体で考える住宅セーフティネット

9:30~
第5
分科会

昨年の研修会の講演で初めて住宅問題を取り上げたところ好評を頂いたので、分科会で取り上げてさらに深めることにしました。先進地域の取り組みをご紹介します。自治体でできる住宅政策を考えます。

講師：稲葉 剛さん 住まいの貧困に取り組むネットワーク世話人。1994年より、東京で路上生活者を中心とした生活困窮者の相談支援に取り組む。2014年に一般社団法人つくろい東京ファンドを立ち上げ、空き家を活用した居住支援をおこなっている。立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科特任准教授。

講師：露木 尚文さん (株)都市・住宅問題研究所代表取締役。都市計画コンサルタント。一級建築士、技術士(都市及び地方計画)。2012年より豊島区居住支援協議会の事務局メンバーとして、空き家を活用した居住支援の仕組みづくりに取り組んでいる。日本住宅会議理事。

低所得者への医療保障(国保、無料低額診療事業、医療扶助)を考える

9:30~
第6
分科会

市町村国保会計の徹底分析による国保料引き下げの展望、2018年度からの都道府県単位化による影響、国保からの排除層の受け皿となっている無料低額診療事業・生活保護の医療扶助の課題について、最新情報をもとに考えます。寺内順子著「基礎から学ぶ国保」(2015年日本機関紙出版センター)をお持ちの方はご持参ください。

講師：寺内 順子さん 大阪社会保険推進協議会事務局長。佛光大学社会学部卒業後豊中市の障害児・者施設に勤務。1991年大阪社会保険推進協議会入局。所謂「無保険の子ども」解消のきっかけとなった調査を2008年6月に実施し、発信した。著書(共著含む)に「国保広域化でいちは守れるのか?」(かもがわ出版)等。

講師：吉永 純さん 全国公的扶助研究会会長・花園大学教授。福祉事務所20年、生活保護ケースワーカー12年の経験を生かして、貧困問題、生活保護、福祉事務所の在り方を研究。著書は「生活保護「改革」と生存権の保障」(2015年)明石書店など。

反貧困の財政と地方自治~「救済」から「連帯」へ

13:00~
講演3

多くの社会保障分野で「財源不足」を理由に削減が相次いでいます。人間の暮らしを支えるという「国の財政」の本来的使命を果たすためには、どのような税と社会保障の制度が必要なのか、地方政治に出来ることは何か。気鋭の経済学者の提言です。

講師：高端 正幸さん 埼玉大学准教授。東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。聖学院大学、新潟県立大学等を経て、2015年より現職。博士(経済学)。東京都税制調査会委員、新潟県税制調査会委員等を務める。著書に「復興と日本財政の針路」(岩波書店)、「地域切り捨てで生きていけない現実」(岩波書店、金子勝氏との共著)等。

行政だからできること

14:30~
まどめ

尾藤 廣喜さん 弁護士、生活保護問題対策全国会議代表幹事。70年、厚生省入省。75年、京都弁護士会に弁護士登録後、数々の生活保護裁判を勝利に導いてきた。日弁連・貧困問題対策本部副本部長。著書に「生存権」「生活保護「改革」ここが焦点だ!」(共著)など。

研修会タイムテーブル 会場情報

1日目 8月26日(金)

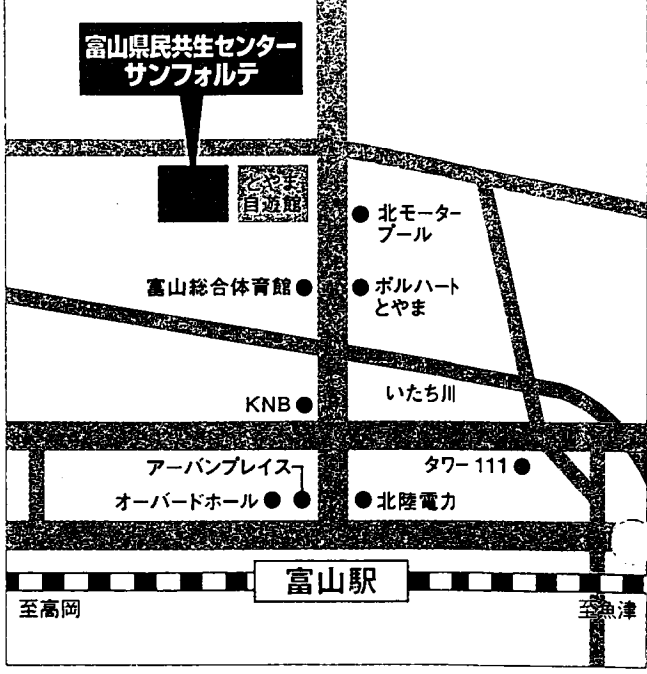
11:55 13:30 13:50 15:20 15:40 17:10 17:45 18:00 19:00

映画上映 (自由参加)	開会挨拶	基調報告	講演 1	休憩	講演 2	特別報告	交流会 (自由参加)
----------------	------	------	------	----	------	------	---------------

2日目 8月27日(土)

9:30 12:00 13:00 14:30 15:00

分科会 (1~6)	昼食	講演 3	まとめ
--------------	----	------	-----



富山県民共生センター・サンフォルテ
 〒930-0805 富山県富山市湊入船町6-7
 TEL.076-432-4500 FAX.076-432-5525
 富山駅北口より徒歩約10分
 富山きときと空港より車で約30分

参加のお申し込み

- 定員 300名(請求書を送付し、ご送金の順にお席を確保し領収書をお送りいたします。)
- 参加費 1万5,000円 **キャンセル料=8月1日以降 1万円 8月10日以降 1万5,000円**
- お弁当 900円(2日目昼食、8月15日以降のキャンセルはご遠慮ください)
- 交流会 1日目 8月26日(金) 午後6時から、研修会場で交流会を行います。参加費 1,000円(軽食・ソフトドリンク付き)

■講座内容問合せ先・参加申込先(宿泊先ホテルは、お手数ですが各自で確保いただきますようお願い致します)
 マック・チャレンジサポート議員研修会受付担当
 TEL.070-5567-4771 FAX.03-6912-4854 E-mail▶koufukun@gmail.com 営業時間:平日9:00~17:00 土曜・日曜日定休

第8回 生活保護問題議員研修会参加申込書

氏名(フリガナ) _____ 男・女	所属等 ()党・無所属 都道府県 市区町村 現在()期目
領収書宛名表記 □研修参加費と弁当・交流会費に領収証を分けて欲しい	1日目の交流会 <input type="checkbox"/> 参加する <input type="checkbox"/> 参加しない 2日目の昼食 <input type="checkbox"/> 弁当を注文する <input type="checkbox"/> 弁当を注文しない
住所 〒 _____ TEL. _____ FAX. _____	希望分科会 <input type="checkbox"/> 第1 <input type="checkbox"/> 第2 <input type="checkbox"/> 第3 <input type="checkbox"/> 第4 <input type="checkbox"/> 第5 <input type="checkbox"/> 第6 参加費 円 1日目交流会 円 2日目昼食 円 送金額合計 円

通信欄(事務局へのご要望等ありましたらご記入ください)

様式第1号 (第3条関係)

政務活動費領収書等綴

13

富士見市民ネットワーク 領収証
加藤久美子 様

¥ 4,000-

但、現地視察(バス代) として
2016年8月20日 上記正に領収いたしました

第4回福島を忘れない!全国シンポジウム
東京都杉並区高井戸東3-36-14-301
Tel/Fax 03-5936-0311



14

領 収 証

富士見市民ネットワーク 加藤久美子 様

2016年 8月21日

金8,620円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
福島811 No.000035



往路

8月20日 (土)	東武東上線 徒歩 JR 山形新幹線	みずほ台駅→朝霞台駅 朝霞台駅→北朝霞 駅 北朝霞 駅→武蔵浦和駅 武蔵浦和駅→大宮駅 大宮駅→福島駅
-----------	----------------------------	---

復路

8月21日 (日)	山形新幹線 JR 徒歩 東武東上線	福島駅→大宮駅 大宮駅→武蔵浦和駅 武蔵浦和駅→北朝霞駅 北朝霞駅→朝霞台駅 朝霞台駅→みずほ台駅
-----------	----------------------------	---

避難者支援の打ち切り、甲狀腺被害の増加、いま帰還はかなうのか。福島を身近に感じてください。

2016年8月20日・21日 議員研修会 第4回 福島を忘れない！ 全国シンポジウム・現地視察

シンポジウム：8月20日(土) 13:30～16:30 (13時間開場)

会場：ホテル福島グリーンパレス(福島駅すぐ)

◎講演会後に交流会があります(予定 17:00～19:30)

【講演】

『福島第一原発事故 その時浪江町は』
浪江町長 馬場有氏



【報告】

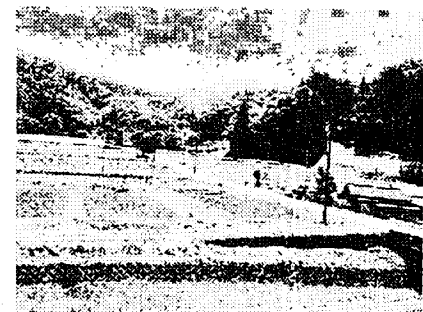
『避難解除地区の現状は』
川俣町議会議員 菅野清一氏 避難者訴訟
山木屋原告団長

『原発立地の町村は』
双葉町 小川貴永氏 避難者訴訟原告団事務局

『避難解除の村は』
川内村議会議員 志田篤氏

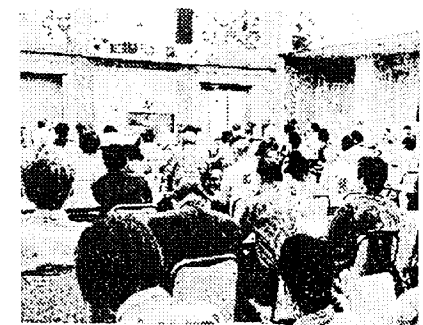
『避難解除後の町は』
楳葉町 金井直子氏 避難者訴訟原告団事務局長

『大熊町の現状』
大熊町議会議員 木幡ますみ氏



【記念イベント】

『ふくしまの今』
「おしどり」マコ&ケン



○終了後：原発被害自治体議員との交流と懇親会

現地視察：8月21日(日) 7:10am ホテル福島グリーンパレス前集合

※裏面に、費用の詳細と申込用紙があります。ご希望の方は記入の上、Faxでお申込みください。

福島を忘れない！全国シンポジウム実行委員会.....

呼びかけ：相沢一正前東海村議会議員・佐藤英行岩内町議会議員
福士敬子元東京都議会議員・武笠元松戸市議会議員

〒168-0072 東京都杉並区高井戸東3-36-14-301 TEL/FAX 03-5936-0311
郵便振替 00110-7-449067 <http://nonukesjapan.org/>

【8/21現地視察行程】

説明員：現地の議員・市民

福島市ホテルグリーンパレス集合

福島市→飯館村(村役場見学)

→南相馬道の駅(トイレタイム)

国道6号線
浪江町役場.....

請戸地区(第一原発が見えます).....

国道6号線
四倉道の駅(最終地点)

※注意事項

①四倉道の駅を最終地点に、福島および東京へ戻るバスは分かれることとなります。

②昼食は、途中で購入し、車中で済ませることとなります。但し、運行状況によっても変わりますので、詳細は当日にお知らせします。



申込用紙

申込み：Fax 03-5936-0311
 問合せ先：090-5497-4222

振込先(郵便振替) 00110-7-449067

名義：反原発自治体議員・市民連盟 ※通信欄に「福島シンポ」とご明記下さい。郵便振替(入金)をもってお申し込みとさせていただきます。

下記に○を記入しお申し込みください。定員(往復バス44人、現地集合44人)になり次第、締め切らせていただきます。

お名前	新宿往復バスツアー (保険加入のため生年月日が必要です)	現地直行			
		シンポジウム	交流会	ホテル宿泊	現地バスツアー
ご住所					
携帯・Eメール					

※往復バスご利用の方は保険加入のためご記入ください。生年月日(西暦) 年 月 日

●現地直行の参加費：議員19,000円・市民17,000円【内訳：シンポジウム議員3,000円、市民1,000円、交流会(お弁当・飲み物つき)4,000円、宿泊費・朝食付き8,000円、8月21日：現地視察(バス)4,000円】

●福島被害自治体議員：1,000円(交流会費 無料)

●新宿から往復バス：8月20日(土)新宿西口ロスパルビル前 7:00集合、7:30出発。

議員26,000円(交通費往復、保険、ホテル宿泊費、シンポ・交流会、現地視察、すべて含む)

◎領収証が必要な方は右記に○をしてください。当日お渡しいたします。領収書：要()

通信欄(何かありましたらご自由にお書きください)

15

様式第6号 (第5条関係)

支 払 証 書

支 払 額 390 円

上記の金額を支払ったことを証します。

平成 28年 8月 21日

会 派 名 富士見市民ネットワーク
代表者名 加籾 久美子

支払内訳・内容	8月21日東上線大宮駅よりみずほ台駅復路のみ390円 <p style="text-align: right;">計 390 円</p>
理 由	第4回福島を忘れない!全国シンポジウムに参加のため
債 権 者 名	東武東上線 JR線

様式第1号 (第3条関係)

政務活動費領収書等綴

16

領 収 証

富士見市議会 加藤久美子様

No. _____

★ 430,000-

但 第8期自治政策講座 in 東京 受講料として

2016年 8月 22日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額
消費税額等(%)

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

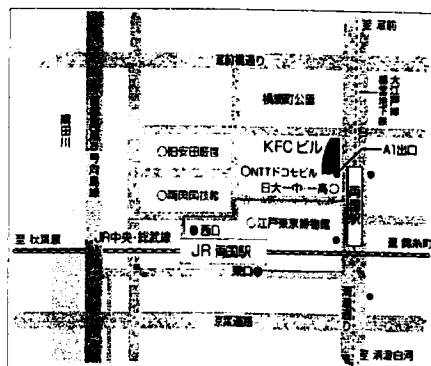
〒112-0012 東京都文京区音羽1-5-8

自治体議会政策学会
会長 竹内 守 行



第18期 自治政策講座 in 東京

「地方財政と防災・介護など 緊急課題に備える」



都営地下鉄大江戸線「両国駅」A1出入口に直結/
JR中央・総武線「両国駅」東口より徒歩約6分。

日時 2016年8月22日(月)、23日(火)
場所 KFCホールアネックス JR・地下鉄 両国駅そば
〒130-0015 東京都墨田区横綱1-6-1 国際ファッションセンタービル
お問合せ 自治体議会政策学会事務局 TEL 03-5227-1827

所得格差・地域格差の拡大が地方財政や税制、地域福祉のあり方を改めて問うています。また、熊本から大分にかけての大地震は、経験した事のない経緯で被害を拡大するなど、災害列島の活動は活発になっているようで、備えは緊急課題と

なっています。予算編成や決算審議では、今一度、防災・減災の対策の進捗に留意することが大切です。高齢化問題も含め各課題の第一人者からお話を伺い、議会での議論にお役立て下さい。

8月22日(月) 13:00~16:30

第1講義

これからの地方財政の動向と2016年度の諸課題

神野 直彦(東京大学名誉教授・地方財政調査会会長)

国の地財計画の動向を踏まえ、地域格差や高齢化に取り組む自治体が直面する課題解決に向けた財政運営とはなにか、予算編成や決算審議へ向けた視点を伺う。また、日銀のマイナス金利導入で地方債負担が減り有利な条件で資金調達が可能となる。この事態を活用すべきなのか、自治体財政の規律は維持できるのかなど、その影響を伺う。

第2講義

活断層と地震—被害軽減へハザードマップの見直し

渡辺 満久(東洋大学社会学部教授)

熊本地震は死者49人、関連死疑い19人に。避難生活でエコノミークラス症候群や感染症が警戒される。断層帯が連動して動き地震発生とみられる。講師は、活断層を知ることが防災につながると、原発立地についても発言をしてきた活断層の第一人者。自治体のハザードマップ見直しなど、地震からの防災・減災対策を伺う。

8月23日(火) 10:00~16:30

第3講義

いざという時に役立てる—避難所運営HUGの紹介と体験

倉野 康彦(静岡県地震防災アドバイザー・HUGのわ主宰)

避難所HUGは、避難所運営を住民自ら考えるため静岡県が開発した。避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲーム。講師はこのHUGの開発者で、指導で全国を奔走している。ゲームを直接体感することで避難所のイメージが具体化し、今後の政策づくりに役立つ。

第4講義

自治体と地方税制の諸課題

池上 岳彦(立教大学経済学部教授・東京都税制調査会会長)

真の地方自治を実現するには、地方の基幹税を整備し、財政調整制度が必要とする講師は、高齢化・少子化時代の公共サービスを支える税制、政府間財政関係などの研究において第一人者。分権時代にふさわしい税制、所得税・消費税の公平な抜本改革とはなにか、また、近年の税制改革の動向、交付税の改革の方向を伺う。

第5講義

介護移住の実態とこれからの高齢者政策

中澤 克佳(東洋大学経済学部教授)

講師は、高齢者の移動と介護サービス水準の関連を研究している。施設介護サービスの充実した自治体へ後期高齢者が移動する「介護移住」は、一部の都市圏だけではなく全国的に確認されることを明らかにした。このような動向を踏まえ、これからの介護保険制度のあり方はどのように考えるべきかなど、持続可能な高齢者政策・制度設計をお話いただく。

神野直彦 (東京大学名誉教授・地方財政調査会会長) ————— 8月22日(月) 第1講義

東京大学卒業。民間企業を経て1978年東京大学大学院経済学研究科修士課程取得、同博士課程単位取得退学。大阪市立大学助教授、東京大学大学院教授などを経て、2009年より東京大学名誉教授。現在、地方財政審議会会長、税制調査会会長代理、社会保障審議会年金部会部会長、地方分権改革有識者

会議座長など多数の審議会等委員を務める。近著に「『人間国家』への改革—参加保障型の福祉社会をつくる」(NHKブックス)、「日本の地方財政」小西 砂千夫と共著、(有斐閣)、「『分かち合い』の経済学」(岩波新書)、「税金 常識のウソ」(文春新書)がある。

渡辺満久 (東洋大学社会学部教授) ————— 8月22日(月) 第2講義

東京大学卒業、東京大学 理学系研究科 地理学 (理学博士) 東洋大学文学部 助教授を経て、東洋大学社会学部 助教授、2002年から現職。
鈴木康弘編「ハザードマップを見直そう」岩波書店、「土地の『未来』は地形でわかる—災害を予測する変動地形学の世

界」日経BP、「『最悪』の核施設 六ヶ所再処理工場」渡辺満久、小出裕章・明石昇二郎 (集英社新書)、「わたしの3・11」渡辺 満久、茂木健一郎 編 (毎日新聞社)、「日本の地形3 東北」渡辺満久、小池一之・田村俊和・鎮西清高・宮城豊彦 編 (東京大学出版会) など。

倉野康彦 (静岡県地震防災アドバイザー・HUGのわ主宰) ————— 8月23日(火) 第3講義

1978年 静岡県入庁。土木部地震防災対策担当、危機管理部危機管理、防災行政を担当、2007年度避難所HUG開発、2008年度HUG製品化。2013年度全国市町村国際文化研修所研修にHUG採用。2014年度全国知事会先進政策バンクの優秀施策に選定。消防科学総合センター「風水害凶上訓練の教

材作成に関する検討会」委員。内閣府の防災スペシャリスト研修。国際交流バージョン、救護所併設バージョン、ホテル旅館バージョン等の姉妹ゲームを試作・実施。2016年3月静岡県を定年退職後静岡県地震防災アドバイザーに就任、各地でHUGの普及に努める。

池上岳彦 (立教大学経済学部教授・東京都税制調査会会長) ————— 8月23日(火) 第4講義

1982年、東北大学法学部卒業。1991年、東北大学より博士(経済学)の学位を取得。新潟大学商業短期大学部講師・助教授、同経済学部助教授・教授を経て、1999年より立教大学経済学部教授。
「カナダの財政調整制度」(立教経済学研究)が第29回/2003(平

15)年度藤田賞受賞。
主な著書に「分権化と地方財政」(岩波書店)、「現代財政を学ぶ」(編著。有斐閣)、「地方税制改革」(編著。ぎょうせい)、「地方交付税・何が問題か」(共編著。東洋経済新報社)、「租税の財政社会学」(共編著。税務経理協会)がある。

中澤克佳 (東洋大学経済学部教授) ————— 8月23日(火) 第5講義

2001年、中央大学卒業。2007年、慶應義塾大学経済学研究科博士後期課程修了。博士(経済学)。同年、東洋大学経済学部講師。准教授を経て2016年より現職。会計検査院特別研究官、総務省 地方分権に関する基本問題についての調査研究会専門委員など。

著書に、「平成の大合併」の政治経済学」(宮下量久との共著・勁草書房)、「介護サービスの実証研究：制度変化と政策対応」(三菱経済研究所)、「自治体における財政格差の諸相」(共著・日本都市センター)など。

お申し込み
要領

1. お申し込み方法下記に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。
2. 受講料2日間参加/30,000円 1日のみ参加/20,000円
3. お申し込み後に送付します受講確認票に従って受講料をお振込ください。

申し込み用紙

FAX : 03-5227-1828

第18期 自治政策講座 in 東京

▼氏名 (フリガナ)		▼電話	▼FAX
		▼E-mail	
▼住所 〒 -			▼所属 (議会・団体等)
申込日に☑を 入れてください	全日程参加	1日のみ参加	
	<input type="checkbox"/> 8月22日(月)~23日(火)	<input type="checkbox"/> 8月22日(月)のみ参加	<input type="checkbox"/> 8月23日(火)のみ参加

政務活動費領収書等綴

17

領 収 証

富士見報社トワー

加藤久美子様

No. _____

★

¥ 2,900-

但 書籍代金として

イギリスのママさん議員奮闘記 21,900
市民参加の新聞 1200

2016年8月23日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

〒112-0013 東京都文京区音羽

イマジン出版株式会社

TEL03(3942)0520 FAX03(3942)2623

領 収 書

下記金額を領収しました。

埼玉県県民生活部県政情報センター

分任出納員

さいたま市浦和区高砂3-15-1

TEL 048(824)2111(代)

2016年9月1日(木)No0

埼玉県5か年計画	¥926
小計	¥926
合 計	¥926
(うち消費税)	¥68)
お預り	¥1,000
お釣り	¥74

点数 1

3572 11時16分

18

19

No. 26249

発行日 2016年9月26日

◇ 領 収 証 ◇

富士見市民ネットワーク 御中

ご契約番号 : 10324743540000

ご契約者名 : 加藤 久美子

¥ 3,283 ー

(税抜き ¥ 3,040 ー)



但 リース料として

2016年9月7日 上記金額正に領収いたしました



日立キャピタル NBL 株式会社

東京都港区西新橋三丁目3番1号 西新橋スクエア

発行部署名	検印	担当印
カスタマーサービスセンター		

※金額を訂正したものと及び会社印並びに検印のないものは無効とします。

※再発行は致しません

No. 27048

発行日 2016年10月18日

◇ 領 収 証 ◇

富士見市民ネットワーク 御中

ご契約番号 : 10324743540000

ご契約者名 : 加藤 久美子

¥ 3,283 ー

(税抜き ¥ 3,040 ー)



但 リース料として

2016年10月7日 上記金額正に領収いたしました



日立キャピタルNB

東京都港区西新橋一丁目3番1号 西新橋スクエア

発行部署名	検印	担当印
カスタマーサービスセンター		

※金額を訂正したものと及び会社印並びに検印のないものは無効とします。

※再発行は致しません

政務活動費領収書等綴

21

領 収 証		No. (再) (29) = 31
富士貝市民ネットワーク 田藤夕美子 様		2016年10月28日
★ ￥5400-		
但 政治参画フォーラム 2016 10/28 参加費		
上記正に領収いたしました		
内 訳	公益社団法人市川房枝記念会女性と政治センター	
税抜金額	東京都渋谷区代々木2-21-11 婦選会館	
消費税額等(%)	電話 03 (3370) 0 2 3 8 〒151-0033	
ウケヨリ 09-76		

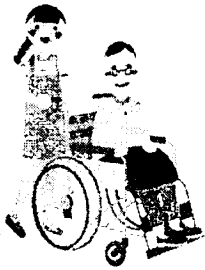
平成 28 年 (2016 年) 10 月 28 日付の領収証の金額について

市川房枝政治参画フォーラム 2016 は、10 月 28 日、29 日の両日で、受講料は 16,000 円でした。

しかし、29 日は所用で参加できませんでした。

その旨を市川房枝記念会女性と政治センターにお伝えしたところ 28 日のみの参加を了解してくれました。28 日は午後からの 2 講座で、センターの内規により 3 分の 1 の受講料で 5,400 円でした。よって領収証の金額は 5,400 円になります。

因みに 29 日のみの受講料は、4 講座で 10,600 円ということでした。



市川房枝政治参画フォーラム 2016

揺らぐ日本の社会保障制度

現在、保育園不足、非正規雇用による将来を展望できない若者の増加、生活保護受給者の半分以上が65歳以上の高齢者世帯、そして子供の貧困率は過去最悪など、格差が拡大し続けています。2025年以降は4人に1人が75歳以上という超高齢社会に向かい、国では「地域包括ケアシステムの構築」を急ぐよう基礎自治体に求めています。一方、社会保障の充実のための消費増税は先送りされるなど、日本の社会保障制度が大きく揺らぎ、その中で持続可能な共生社会をどう実現していくか、私たちはかつてない課題に直面しています。そこで、今回も各分野の専門家からお話しいただき、共に学び、自治の現場で実践していくためのフォーラムを開催します。熊本地震はじめ各地で災害が多発している中、災害に備えた自治体の対応についても一緒に考えましょう。

とき **10月28(金)・29日(土)**

ところ 婦選会館 最寄駅: JR線/代々木駅北口、新宿駅南口・新南口下車徒歩約7分 道順はセンターP参照
小田急線/南新宿駅下車徒歩約3分 地下鉄都営新宿線・大江戸線/新宿駅A1下車徒歩約3分
対象・定員 自治体議員及びその支援者、テーマに関心のある人(主に女性)約40名(受付先着順)

プログラム

第1日 10月28日(金) 開場12時
13:00~13:15 ガイダンス・主催者あいさつ
13:15~15:15 基調講演 格差社会と民主主義 法政大学教授 湯浅 誠氏
15:30~17:30 講演 今後の介護保険法改正と総合事業のゆくえを探る 淑徳大学教授 結城康博氏
17:40~19:00 交流会(自由参加)

第2日 10月29日(土)
10:00~12:00 講演 災害と自治体の役割 特定非営利活動法人NPO政策研究所専務理事 相川康子氏
13:00~15:00 事例発表 武蔵野市における地域包括ケアと新総合事業の取り組み 武蔵野市健康福祉部長 笹井 肇氏
15:10~15:30 ディスカッション
15:30 閉会

参加費 ■16,000円(現職議員以外の方は8,000円) 交流会参加費は別途2,500円

備考 ▼参加希望者は10月17日(月)までに、①参加費の払込み、②裏面の申込用紙の送付をお願いします。

お払込みが遅れる場合は必ずご一報ください。

[振込み先] 郵便振替 口座番号 00170-0-561022 加入者名 (公財)市川房枝記念会女性と政治センター

▼原則2日間通してのお申込みを優先し、席に余裕があれば1日だけの参加もお受けします。

▼納入後の参加費はお返してできません。ご欠席の場合は代理の方にご出席いただけます。もしくは1年以内の他のフォーラムに振り替えてご出席いただけます。

▼お申込み、お問い合わせは下記まで。▼講師の都合などにより変更がある場合はご了承ください。

主催：公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター

東京都渋谷区代々木2-21-11 婦選会館 〒151-0053

電話 03-3370-0238 FAX 03-5388-4633

E-mail fitikawa.moushikomi@fork.ocn.ne.jp URL <http://www.ichikawa-fusae.or.jp>

(2016.6)

22

No. 28571

発行日 2016年11月25日

◇ 領 収 証 ◇

富士見市民ネットワーク 御中

ご契約番号 : 10324743540000

ご契約者名 : 加藤 久美子

¥ 3,283 ー

(税抜き ¥ 3,040 ー)

但 リース料として

2016年11月7日 上記金額正に領収いたしました



日立キャピタル NBL 株式会社
東京都港区西新橋一丁目一番一号 西新橋スクエア

発行部署名	検印	担当印
カスタマーサービスセンター	●	●

※金額を訂正したもの及び会社印並びに検印のないものは無効とします。

※再発行は致しません

◇ 領 収 証 ◇

富士見市民ネットワーク 御中

ご契約番号 : 10324743540000

ご契約者名 : 加藤 久美子

¥ 3,283 ー

(税抜き ¥ 3,040 ー)

但 リース料として

2016年12月7日 上記金額正に領収いたしました



日立キャピタル NBL 株式会社

東京都港区西新橋一丁目3番1号 西新橋スクエア

発行部署名	検印	担当印
カスタマーサービスセンター	●	●

※金額を訂正したものと及び会社印並びに検印のないものは無効とします。

※再発行は致しません

No. 30983

発行日 2017年1月27日

◇ 領 収 証 ◇

富士見市民ネットワーク 御中

ご契約番号 : 10324743540000

ご契約者名 : 加藤 久美子

¥ 3,283—

(税抜き ¥ 3,040—)

但 リース料として

2017年1月10日 上記金額正に領収いたしました



日立キャピタル NBL 株式会社

東京都港区西新橋一丁目3番1号 西新橋スクエア

発行部署名	検印	担当印
カスタマーサービスセンター		

※金額を訂正したものと及び会社印並びに検印のないものは無効とします。

※再発行は致しません

様式第1号 (第3条関係)

政務活動費領収書等綴

25

領 収 証

No. 21

富田市民センター様

2017年1月24日

★ 7,172.80

但 市川房枝政治参画フォーラム参加費
上記正に領収いたしました

内 訳 三菱東京UFJ
税抜金額
消費税額等(%)

公 財団法人市川房枝記念会女性と政治センター
東京都渋谷区代々木2-21-11 婦選会館
電話 03 (3370) 0238 〒151-0053

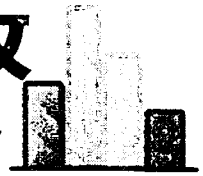
573 2/7-76

2017

市川房枝政治参画フォーラム 2016

日本経済と地方財政

—自治・分権時代の自治体議会・議員の役割—



長期化する安倍政権は、アベノミクス「新・三本の矢」を放って経済優先政策を進め、そこでは地方創生、女性活躍、一億総活躍、働き方改革などのキャッチフレーズが先行しています。社会保障充実のためとして行われた消費増税は、更なる増税が見送られ、年金生活者への臨時福祉給付金等を継続。一方で国民間の格差は広がり、様々な世代の暮らしが困難な状況にあります。縮びみせてきたアベノミクスにより、2017年度国の予算は私たちの暮らしにどのような影響を及ぼすのか。自治体の当初予算の留意事項も学び、どうすれば社会保障を充実させ、自治を確立していくことができるか、一緒に考えましょう。

とき 2017年1月27(金)・28日(土)

ところ 婦選会館 最寄駅：JR線/代々木駅北口、新宿駅南口下車徒歩約7分 道順はセンターHP参照
小田急線/南新宿駅下車徒歩約3分 地下鉄都営新宿線・大江戸線/新宿駅A1下車徒歩約3分
対象・定員 自治体議会議員及びその支援者、テーマに関心のある人(主に女性)約40名(受付先着順)

プログラム

1月27日(金)

13:00~13:15 ガイダンス・主催者あいさつ
13:15~15:15 カレントトピックス

「憲法公布70年と立憲主義 — 憲法審査会の動向をふまえて」

弁護士・伊藤塾塾長 伊藤 真氏

15:30~17:30 講演「会計検査院の役割と決算検査報告」 会計検査院検査官 小林麻理氏
17:45~18:45 交流会(自由参加)

1月28日(土)

10:30~12:00 基調講演「アベノミクスの破綻」 元日銀副総裁 藤原作弥氏
13:00~15:55 講演「2017年度国の予算と自治体財政(速報・視点・課題)」
公益財団法人地方自治総合研究所嘱託研究員 菅原敏夫氏
15:55~16:00 閉会

参加費■17,280円(現職議員以外は8,640円。いずれも税込)。交流会参加費は別途2,500円(税込)

備考▼参加希望者は1月23日(月)までに、①参加費の払込み、②裏面の申込用紙の送付をお願いします。

お払込みが遅れる場合は必ずご一報ください。

[振込み先]三菱東京UFJ銀行 新宿中央支店(普) 5562919 公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター

▼原則2日間通してのお申込みを優先し、席に余裕があれば1日だけの参加もお受けします。

▼納入後の参加費はお返してできません。ご欠席の場合は代理の方にご出席いただけます。もしくは1年以内の他のフォーラムに振り替えてご出席いただけます。

▼お申込み、お問い合わせは下記まで。▼講師の都合などにより変更がある場合はご了承ください。

主催：公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター

東京都渋谷区代々木2-21-11 婦選会館 〒151-0053

電話 03-3370-0238 FAX 03-5388-4633

E-mail fitikawa.moushikomi@fork.ocn.ne.jp URL <http://www.ichikawa-fusae.or.jp>

市川房枝政治参画フォーラム2016
2017日本経済と地方財政

講師プロフィール



伊藤 真(いとう まこと)氏

伊藤塾塾長・弁護士・法学館法律事務所所長・法学館憲法研究所所長、日弁連憲法問題対策本部副本部長。1958年東京都生まれ。1981年司法試験合格。その後、真の法律家の育成を目指し、司法試験の受験指導にあたる。「憲法を知ってしまった者の責任」から、日本国憲法の理念を伝える伝道師として、講演・執筆活動を精力的に行う。2009年多くの弁護士らと「一人一票実現国民会議」発起人、2014年憲法解釈の変更による集団的自衛権の行使容認に反対する憲法学者や元政府関係者らと「国民安保法制懇」、2015年弁護士有志と「安保法制違憲訴訟の会」を立ち上げる。2016年「九条の会」世話人に就任。



小林麻理(こばやし まり)氏

会計検査院検査官。博士(商学)早稲田大学。早稲田大学商学部助手を経て、1992年より富士短期大学経営学科専任講師に着任。同短期大学助教授・教授を経て、2002年東京富士大学経営学部教授に就任。2003年から早稲田大学大学院公共経営研究科、2012年から政治学研究科で教授を務める。2013年8月、会計検査院検査官に女性として初めて就任。2016年2月再任。『公共経営と公会計改革』(編著、2013年、三和書籍)、『地方自治体は重い負担に耐えられるかー「民」の力を結集する方法ー』(編著、2011年、早稲田大学出版部)など。



藤原作弥(ふじわら さくや)氏

エッセイスト、ノンフィクション作家。1937年宮城県生まれ。1942年父と北朝鮮の清津に移住。2年後旧満州の興安街(現モンゴル自治区)へ。ソ連軍の優攻により安東(現丹東)に辿り着き、1946年11月帰国。1962年東京外国語大フランス学科卒業後、時事通信社入社、経済部に配属され大蔵省担当。1967年～オタワ、ワシントン特派員。以後日銀、経団連担当などを経て解説委員長に。1998年～2003年日銀副総裁。著書『聖母病院の友人たち』『満州、少国民の戦記』『李香蘭 私の半生』(山口淑子との共著、以上新潮社)、『満州の風』『素顔の日銀副総裁日記』(以上集英社)、『この国の姿』(愛育社)他多数。



菅原敏夫(すがわら としお)氏

公益財団法人地方自治総合研究所嘱託研究員。神奈川県自治総合研究センター、社団法人東京自治研究センターを経て2005年より地方自治総合研究所勤務。自治体財政、自治体財務論専攻。国際公会計学会会員、日本地方財政学会会員、地方自治学会会員。『スラスラわかる！自治体財政健全化法のしくみ』(2007年、ぎょうせい)、『財政基盤の確立と会計制度』(共著、2000年、東京法令出版)、『岩波講座自治体の構想 政策』(共著、2002年、岩波書店)、『公会計・監査用語辞典』(共著、2002年、ぎょうせい)、「社会保障予算をどう読むか」(「季刊福祉労働」2015年6月号)、「大災害における財政の役割」(地方自治総合研究所)他。

-----参加申込書-----

ふりがな お名前	
連絡先	住所 (〒) 電話 FAX メール
受講歴	はじめて参加 ・ 前に参加したことがある
現職議員	自治体名 所属会派 党籍 有() ・ 無
議員以外	活動など()
参加費 払込方法	銀行振込 ・ その他() 払込金額 参加費(17,280円/8,640円) + 交流会参加費(2,500円) = 円 *参加費:現職議員以外は8,000円
参加の きっかけ	議会事務局より ・ 当センターからの案内 ・ 『女性展望』誌上 ・ 当センターHP その他()

備考(要望など)

FAX 03 - 5388 - 4633

様式第6号(第5条関係)

支 払 証 書

支 払 額 1,040 円

上記の金額を支払ったことを証します。

平成29年 1月27日

会 派 名 富士見市民ネットワーク
代表者名 加籾 久美子

支払内訳・内容	1月27日東武東上線みずほ台駅より池袋駅片道360円、 往復720円 池袋駅より代々木駅片道160円、往復320円 計 1,040 円
理 由	市川房枝政治参画フォーラム2016参加のため
債 権 者 名	東武東上線 JR線

27

No. 32277

発行日 2017年2月27日

◇ 領 収 証 ◇

富士見市民ネットワーク 御中

ご契約番号 : 10324743540000

ご契約者名 : 加藤 久美子

¥ 3,283 -

(税抜き ¥ 3,040 -)

但 リース料として



2017年2月7日 上記金額正に領収いたしました



日立キャピタル NB

株式会社

東京都港区西新橋一丁目3番1号 西新橋スクエア

発行部署名	検印	担当印
カスタマーサービスセンター		

※金額を訂正したものとび会社印並びに検印のないものは無効とします。

※再発行は致しません

No. 35731

発行日 2017年3月28日

◇ 領 収 証 ◇

富士見市民ネットワーク 御中

ご契約番号 : 10324743540000

ご契約者名 : 加藤 久美子

¥ 3,283 ー

(税抜き ¥ 3,040 ー)

但 リース料として

2017年3月7日 上記金額正に領収いたしました



日立キャピタルNB株式会社

東京都港区西新橋一丁目3番1号 西新橋スクエア

発行部署名	検印	担当印
カスタマーサービスセンター		

※金額を訂正したものと及び会社印並びに検印のないものは無効とします。

※再発行は致しません

29

No. 36714

発行日 2017年4月24日

◇ 領 収 証 ◇

富士見市民ネットワーク 御中

ご契約番号 : 10324743540000

ご契約者名 : 加藤 久美子

¥ 3,283 ー

(税抜き ¥ 3,040 ー)

但 リース料として

2017年4月7日 上記金額正に領収いたしました

日立キャピタル NBL 株式会社

東京都港区西新橋一丁目3番1号 西新橋スクエア



発行部署名	検印	担当印
カスタマーサービスセンター		

※金額を訂正したもの及び会社印並びに検印のないものは無効とします。

※再発行は致しません